

第七十五回帝國議會
衆議院
東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第九回

付託議案
東北興業株式會社法中改正法律案
(政府提出)(第四三號)
東北振興電力株式會社法中改正法律案
(政府提出)(第四四號)

會議

昭和十五年三月二日(土曜日)午前十時十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 野村 嘉六君

理事 森田重次郎君 理事 林 平馬君

理事 松川 昌藏君 理事 庄司 一郎君

栗山 博君 釘本 衛雄君

熊谷 直太君 小笠原八十美君

井上 知治君 中田 儀直君

菊地養之輔君 川俣 清音君

木村 武雄君 小野 謙一君

出席國務大臣左ノ如シ
文部大臣 松浦鎮次郎君

出席政府委員左ノ如シ
內閣東北局長 宇都宮孝平君

內務省土木局長 成田 一郎君

農林省水產局長 栗屋 仙吉君

電氣廳部長 森 秀君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
東北興業株式會社法中改正法律案(政府提出)

東北振興電力株式會社法中改正法律案(政府提出)

○野村委員長 是カラ開會致シマス——森田君

○森田委員 農林省ノ水產局長ガ御見エノヤウデゴザイマスカラ、私ハ東北地方ノ漁民ト北洋漁業ノ關係ニ付テニ三疑ヲ質シテ見タイト思フノデアリマス、先ヅ第一ニ御伺シタイコトハ、聞ク所ニ依リマスルト、

第六類第四號 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會會議錄 第九回 昭和十五年三月二日

農林省デハ魚類ガ、我ガ日本ノ食糧政策ノ上ニ及ボス影響ノ大ナルニ鑑ミテ、水產漁業會社ノ統一ヲ圖ルト同時ニ、販賣機構ノ統一ヲ圖ルト云フ御意向ガアルヤウニ聽イテ居ルノデアリマス、若シサウ云フ御意向ガ御アリナサルモノデアリマシタラバ、舊來ノ所謂北洋漁業ト稱スルモノ、竝ニ東北地方ノ漁業ニ對シマシテ、只今申上ガマシタ一ツノ統制會社トノ間ニ、ドウ云フヤウナ關聯ヲ持ツタ組織ニナサルノデアリマスルカ、其ノ點ヲ先ヅ一ツ御伺シタイト思ヒマス

○粟屋政府委員 北洋漁業ノ統制ト云フコトニ付キマシテハ、所謂露領漁業、沖取工船漁業、北千島ノ漁業、是等ハ各別ノ資源デハナク、同一ノ資源ヲ目標トシテ漁業ヲシテ居ルノデアリマス、其ノ意味カラ致シマシテモ、之ヲ合理的ニ確保シ、合理的ニ處理ヲシテ行クコトヲ考ヘテ、長ク魚族資源ヲ維持開發シテ行ク必要ガアルト考ヘテ居リマス、又其ノ中心デアリマス露領漁業ト云フモノハ「ボーツマス」條約ニ源ヲ發シマシタ特別ノ貴重ナル權益デアリマスコトハ申スマデモナイコトデアリマシテ、サウ云フ立場カラモ、ソレヲ中心トシテ居リマス所ノ北洋ノ漁業ハ、特別ノ考ヲ以テ運營シテ行カナケレバナラスト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、只今御話ノ國民大衆食糧、又貿易振興ト云フ立場カラモ、是ハ大キナ役割ヲ致シテ居ルノデアリマス、尙ホ又是ガ對「ソヴェト」ノ關係ニ於キマシテ

ハ、御存ジノ通り色々ナ問題ガアリマシテ、餘程體制ヲ整ヘテ參リマセスト、此ノ權益ヲ維持シ、之ヲ保護シテ行クコトガ出來ナイヤウナ情勢ニアリマス、サウ云フ意味カラ致シマシテ、北洋ノ漁業ハバラ／＼ニヤツテ居ツタノデハイケナイ、ドウシテモ統制ヲシ、然ルベキ體制ヲ整ヘテ臨ムニアラザレバ將來思ハシクナイ、斯ウ云フ考ノ下ニ、此ノ事ニ付キマシテハ、農林當局ト致シマシテモ、統制ト云フ方ニ進マナケレバナラスト云フ考ヲ持ツテ居リマスガ、今日ノ場合法案其ノ他豫算ヲ通ジテマダ之ヲ具體化シ得ナイコトハ遺憾トスルノデアリマシマスガ、將來成ベク早クサウ云フ風ニ努メタイト云フ考ヲ持ツテ居リマス、併シナガラソレト離レマシテ、他ノ沿岸漁業、是トソレトハ全ク違フノデアリマシテ、全部ヲ統一シテドウスウスト云フ考ハ差當リ持ツテハ居リマセス、併シナガラ我國ノ漁業ノ大半ノ漁獲ヲ擧ゲテ居リマス所ノ沿岸漁業ト云フモノハ、今後何處マデモ漁獲ヲ益大ナラシムルヤウニ指導シテ行カナケレバナラスト考ヘテ居リマス、ソレニ對シマシテハ、漁業組合運動等ヲ通シマシテ、各業者ノ人々ニ漁獲ノミナラズ其ノ他ノ經濟ニ於キマシテモ、之ヲ今日ノ一般ノ他ノ方面ノ經濟關係ト相並行シテ不利ニ陷ラナイヤウニ其ノ立場ヲ維持シ、其ノ利益ヲ擧ゲテ行キマス上ニ、福利ノ増進ノ爲ニ指導ヲシテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマシテ、今北洋漁業ノ統制ノ問題ト沿岸漁業ノ

問題トノ間ニハ何等關聯ヲ以テ考ヘテ居ル譯デハアリマセス

○森田委員 ソコデモウ少シ統制サレル内容ニ付テ承リタイノデアリマスガ、只今ノ御答辯デアリマス、マダハツキリシタコトニナツテ居ラナイラシイノデアリマシテ、サウ致シマス、成程内容ニ入ツテ詳シク御伺スルコトハ聽ク方モ少シ無理カト思ヒマスガ、併シ大體ニ於テドウ云フヤウナ輪廓デアルカ、其ノ内容ヲ成ス組織ノ主體サウ云ツタヤウナモノハドウ云フ見込デアルカ、或ハ資金ノ關係ハドウ云フ風ノ關係ニナルノカト云ツタヤウナ「アウトライン」ダケデモ、若シ御漏ラシ願ヘレバ伺ヒタイト思ヒマス

○野村委員長 森田君、文部大臣ハ貴族院ノ豫算委員會ニ行カナケレバナラストサウデスカラ、水產局長ニ對スル質問ヲ一時休ンデ貫ヒマシテ、直グ文部大臣ニ御質問願ヒタイト思ヒマス

○森田委員 今ノ御答辯ダケヲ御聽キシテ……

○粟屋政府委員 先程申シマスヤウニ、今回ノ議會ニハ豫算トシテ是ガ現ハレテモ居リマセシ、他ニ法律案モ出テ居ラナイノデアリマス、サウ云フ點カラ致シマシテ、其ノ内容如何ト云フコトヲ私ガ今申上ゲルノハドウカト思ヒマスケレドモ、大體ニ於キマシテハ、先程申シマス通り、ドウシテモ統制ヲシテ行クコトガ適當デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ内容ト致シマ

シテハ、大體露領漁業、「カムチャツカ」ニ於テ致シテ居リマス漁業、公海デ致シテ居リマス蟹工船、鮭工船、サウシテ又北千島ノ鮭工船對象トスル漁業、斯ウ云ツタモノハ當然其ノ中ニ入レテ一緒ニナラナケレバ意味ヲ成サナイ、斯ウ考ヘテ居リマス、餘リ細カイ點マデ申上グルコトハ不適當デアルシ、又決マツテモ居リマセヌ、大體サウ云フ輪廓ヲ以テ考ヘテ居リマス

○森田委員 ソレデハ水産局長ニ對スル質問ガマダ少シアルノデアリマスガ、文部大臣モ御急ギノヤウデアリマスカラ、私文部大臣ニ對シマシテ三ツノ點ヲ御同致シタイト思ヒマス、第一點ハ我國ノ教育ガ非常ニ畫一的デアル、此ノ點ニ一ツノ缺點ヲ持ツモノダト考ヘマス、吾々ノ具體的生活ハ決シテ全人類ト云フヤウナ抽象的文化生活ヲ營シテ居ルノデモナイノデアリマシタ、日本ハ日本ノ自然ト、日本ノ社會機構ト、日本ノ民族國家ノ根本性格トモ見ラレル國體ト云フヤウナモノカラ、一ツノ日本民族ノ個性ト云フモノヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、其ノ個性ニ即シテ教育ヲセナケレバナラヌト云フコトハ、是レ極メテ明瞭ナコトナノデアリマス、ソレト同ジヤウナ理論ヲ以テ致シマス、我國ノヤウニ北ハ樺太、千島、北海道カラ、南ハ臺灣ニマデ互ルヤウニ、周圍ノ事情ガ色々違フ國ニ於テハ、大體ニ於テ地方的ニ共通ダト認メラレル地方ノ特殊性ニ即シタ一ツノ教育方針ヲ立テラレナケレバナラナイモノダト思フ、無論ソレハ日本共通ノモノトシテノ教育モ先ヅ第一ニ認メラレナケレバナラナイノデアリマスガ、ソレハ第一次ノ條件デアリマシテ、第二次ノ條件ト致シマシテハ、地方ノ

特殊性ニ應ジタル教育方針ガ立テラレナケレバナラナイ、私ハ斯ウ思フ、然ルニ舊來ノ教育ヲ見マスドモモサウデハナイノデ、地方ノ特殊性ト云フモノヲ殆ド認メテ居ラヌ、斯ウ云フ風ニ見ルノデアリマスガ、此ノ點ニ對シマシテ、文部省ハ、地方ニ特殊性ガアルナラバ、其ノ特殊性ニ應ズル教育方針ヲ立テナケレバナラナイト云フ建前ヲ今御執リニナツテキラツシヤルノデアアルカドウカ、若シサウ云フ建前ヲ御執リニナツテキラツシヤルノデアリマシタナラバ、東北地方ト云フモノニ共通シタ特殊性ヲ御認メナサルノデアアルカ、御認メナサルトスレバ東北地方ニ對シテハドウ云フ風ナ教育方針ト云フモノヲ御立テナサル御積リデアアルカ、此ノ點ニ付テ文部大臣ノ御考ヲ御同致シタイノデアリマス

○松浦國務大臣 只今御質問ノ教育ガ畫一ニ偏スルト云フコトハイケナイト云フ御尋ハ大體御同感デアリマシテ、私モ左様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、是ガ國民教育ノ基礎ト申シマスカ、サウ云フ所デハ是ハ何レノ地方ニアツテモ、又學校ヲ出テドウ云フ職業ニ從事スル者デアツテモ、一般ニ必要ナ國民トシテノ基礎教育ト云フモノハ、大體大キイ所デ申セバ同ジコトデアリマスカラ、其ノ點カラ申スト、日本全國ニ互ツテ大體ニ於テ同ジヤウナ基礎教育ヲ授ケルト云フ必要ハ、是ハ無論アルノデアリマスケレドモ、ソレト同時ニ、此ノ國民教育ニ於キマシテモ、ソレノ地方々々ノ事情ニ即應シタ特殊ノ意味ヲ加ヘタ教育ヲ其處ニ加味スルト云フコトハ、是ハ又同時ニ必要ナコトデアリマス、今回ノ國民學校制ニ於キマシテモ、殊ニ其ノ上ノ方ノ部分

ニ於キマシテハ、一層其ノ地方々々ノ事情ニ即應シタ、實際生活ニ即シタ教育ヲアル、斯ウ云フ意味デ、從來ヨリモ一層學校ノ畫一性ト云フコトヲ打破シテ、其ノ地方ニ即應シタ教育ヲ施シタイ、斯ウ云フ意味デ考ヘラレテ居ルノデアリマシテ、此ノ方針ハソレカラ上ノ學校ニ於キマシテモヤハリ同ジコトデアリマシテ、大體實業學校ノ教育ナラバ、實業人トシテノ素養トシテ必要ナ教育ハ同ジヤウニヤラナケレバナラヌ部分モアリマスケレドモ、ソレニ致シマシテモヤハリ地方々々ノ特色ヲ帶ビシメテ教育ヲスル、大體斯ウ云フ建前ヲ執ツテ居ルノデアリマシテ、隨テ東北地方ノ教育ナラバヤハリ其ノ地方ニ即應シタ教育ヲアル、建前トシテハ左様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○森田委員 原則論ト致シマシテハ、私等モ同ジ考ヲ持ツテ居リマシテ、一應諒承致シマスガ、大體東北地方ノ特殊性ニ即應シタ教育方針ト云フモノヲ文部省デ御立テニナツテキラツシヤルノデアアルカ、又、今立ツテ居ナイトスレバ、將來御立テナサルト云フ御方針ナラバドウ云フヤウナ點ヲ御狙ヒニナツテ居デニナルノデアリマスルカ、若シ其ノ點ニ對スル御考ガアリマシタラ御同致シタイ

○松浦國務大臣 今申上ゲマシタ如ク、各地方ノ實情ニ即シタ教育ヲアルト云フコトデアリマスカラ、東北地方トシテハヤハリ地方ノ實際ノ事情、産業ノ狀態、其ノ他東北地方ニ即應シタ教育ヲアル、斯ウ云フコトニ考ヘテ居ルト云フ風ニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○森田委員 ソレデハ少シ私ノ考ヲ若干申上ゲテ、ソシテ文部省ノ御執リニナル御態

度ニ對シテ御同致シタイト思フノデアリマス先ヅ東北人ノ根本性格ト云ツタヤウナ、詰リ主體的即主觀的ナ方面ノ特殊性ト云ツタヤウナモノニ付テノ方針ト云フモノヲ私ハヤハリ立テナケレバいかヌデヤナイカト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、然ラバ東北人ノ特殊性ト云フモノハドウ見ルノデアアルカト言ヒマス、ソレハ私ハ非常ニ素朴デアリ、思索的デアリ、綜合的デアリ一面、非常ニ重厚性ヲ持ツテ居ル、サウシテ性格全體ノ上カラ見ルト、先ヅ衝動的ナ生命力ト云フヤウナモノニ付テハ他地方ヨリモ相當濃厚ナモノヲ持ツテ居ル、斯ウ云フコトモ考ヘサセラル、併シナガラ遺憾ナガラ表現ト云フ立場、社會生活上ニ於ケル表現ト云フ立場ニナリマスル、日本ノ國家全體ノ文化ノ平均水準ト云フモノノ上カラ批判致シマス、是ガ又非常ニ洗煉サレテ居ナイト云フ感ジアル、一定ノ筋肉ヲ通ジテ社會的ニ顯現サレル一ツノ行爲ノ上カラ考ヘルト、ソレハ洗煉サレテ居ナイ、潛在的デアツテ洗煉サレテ居ナイ、斯ウ考ヘマス、是ハドウシテモ言語ノ上カラ考ヘマシテモ、或ハ技術的ナ點カラ考ヘマシテモ、相當社會性ヲ持ツタ洗煉ヲ之ニ加ヘテ、內在的ナ、或ハ潛在的ナ要素トシテノ良素質ヲ持ツテ居ルモノニ對シテ、特別ナ洗煉ヲ加ヘルト云フ點ニ一ツノ重點ヲ置ク教育方針ヲ立テナケレバいかヌデヤナイカト、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテ文部大臣ハドウ云フ御考ヲ御持チニナツテ居ルカ、此ノ點ニ付テ伺ヒタイ

○松浦國務大臣 大體ニ於キマシテ東北人ノ特性トシテ素朴デアリ極メテ重厚デアアル

ト云フ長所ガアルト云フコトハ確ニ認メラレノデアリマス、ソレト同時ニ今御話ノヤウニモウ少シ洗練ト云フコトニ於テハ一層之ヲ誘發シナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ必要ヲ感ジマスルコトハ御同感デアリマス、或ハ又重厚デアリ素朴デアリ其ノ點ハ非常ニ長所ヲ持つテ居ルケレドモ、一方ニハ稍、消極的デアルト云フヤウナ點モ或ハアルカモ知レマセヌ、サウ云フ風ニシテ若シ短所ト云ヒ得ベクンバ、其ノ短所ハ之ヲ何處マデモ是正シ、其ノ長所ハ益、之ヲ保持シ又之ヲ一層發揮セシムル、斯ウ云フ風ニシナケレバナラヌモノト考ヘルノデアリマス

○森田委員 大體私等ノ考ト同ジデアリマス、大變意ヲ強ウ致シマス、只今ノハ主體の方面カラ見タ一ツノ特殊性デアリマスガ、客觀のナ方面カラ見マシタ東北ノ特殊性ノ中ノ最モ根本的ナモノノ一ツハ何デアカト云フト、文獻ニ傳ハツテ居ルモノ約六七百年以來ノ調査ニ依リマス、少クモ五十年ニ一遍ハ周期的ニ冷害ヲ受ケテ居ルト云フ事實ガアル、是ハ東北ノ宿命的ナモノダト私ハ思フ、之ヲ科學的ニ克服スルコトガ出來ルカドウカニ東北人ノ本當ノ文化生活ヲ營ミ得ルカドウカガ懸ツテ居ルト私ハ思フ、是ダケ重大ナモノデア、最近昭和六七年カラ八九年ニ掛ケテノ冷害デ、初メテ政府モ目ヲ覺マシタト云フヤウナ形デアリ、教育者モ亦初メテ之ニ著眼スルト云フヤウナコトニナツテ來タノデアリマス、是ハ實ニ驚クベキ認識不足デアツタト云フコトヲ私自身モ亦感ズルノデアリマス、是ハ實ニ悲慘ナル歴史ヲ辿ツテ來テ居ル、封建時代ニ於ケル各藩ノ凶作ニ對スル對策ト云フモ

ノハ、今考ヘテ見マス、實ニ慄然肌ニ粟ヲ生ゼシムルヤウナ對策ヲ講ジテ、而モソレデ旨ク行カヌデ、天保ナリ天明ナリ、其ノ以前ノ元祿アタリノ飢饉ニ於キマシテモ、極ク僅カノ範圍内ニ於キマシテモ、何万ト云フ人ガ死ンデ居ルト云フヤウナ悲惨ナ事實ガアルノデアリマス、現在私ノ知ツテ居ル所ナドデモ、子供ノ捨テラレタト云フ淵ガアル、母親ガ子供ヲ殺サウトスルガ、殺セナイ、到頭河原ニ連レテ行ツテ、子供ノ頭カラ風ヲ取ツテヤツテ居ツタ、子供ガウトノ眠ツテ居ルノヲ、側ニアツタ石ヲ以テ子供ノ頭ヲ毆ツタ、サウスルト子供ガ目ヲ醒マシテ、「オ母サン私ヲ殺スノカ」ト言ツテ叫ンダノデ、無理ニ川ノ中ニ押込シテ殺シタト云フヤウナ悲惨ナ記録モ私ハ此ノ間凶作ノ記録ヲ見タ時ニ見タノデアリマス、此ノ宿命ナンデス、是ガ東北ノ文化ノ遅レタ根本原因デア、然ルニ今日マデ、私ハ青森縣デアリマスガ、吾々ノ縣ニ於キマシテモ、亦東北地方全般モ、斯ウ云フ宿命的ナ自然カラノ規則ガアルニ拘ラズ、之ニ對シテ備ヘル所ノ人間ノ「心構ヘ」ト云フモノヲ知ラシテ居ラス、是ハ教育ノ上カラ考ヘテ、私ハ非常ニ大キイ怠慢ダト實ハ思フ、五十年ニ一遍ノ大冷害、之ヲ中心トシテ平均五年ニ一遍ツツ此ノ冷害ガ來ルノデアリマスカラ、其ノ都度唯オ上ニ縫ツテ、サウシテ何カ御零レドモ頂戴スレバト云フヤウナ妙ナ考ヲ抱イテ居ルト云フヤウナ始末デア、私ハ意識的ニ是ハ克服スベキモノダト思フ、ソコニハ教育ノ力ガ最モ重要ナ役割ヲ持つモノダト思フ、然ルニ今日マデ、文部省ニ於テモ、各縣ニ於テモ、之ニ對シテ適切ナル教育資料ト云フモノガ與

ヘラレテ居リマセヌ、サウナリマス、是ハ教育ノ特殊性ニ鑑ミルト云フ點カラ考ヘマシテ、文部省トシテモ相當御考ニナラナケレバナラナイ點デハナイカ、斯ウ私ハ考ヘル、ソコデ、將來若シ私ガ只今申上ゲマシタヤウナ意見ニ御賛成デアリマスルナラバ、文部省トシテハ、此ノ東北地方ノ宿命的ナル自然制限ト見ラレ冷害ニ對スル資料ヲ御蒐集ニナリ、サウシテ各學校ヘ御配布ナサレ、殊ニ青年學校ヲ中心トシテ此ノ點ニ對シテ特別ナル留意ヲシナケレバナラヌモノダト思フノデアリマスガ、之ニ對シテ文部大臣ハドウ云フヤウナ御考ヲ御持チデアリマセウカ、ソレヲ一ツ承リタイ

○松浦國務大臣 東北地方ニ來ル所ノ冷害ト申シマスガ、サウ云フモノガ宿命的ニ來ルト云フヤウナコトガアツテ、之ヲ克服スル之ニ對處スルト云フヤウナ覺悟ヲ持タセナケレバナラヌト云フ意味デノ御話デアリマスガ、先頃東北帝大ニ農業研究所ト云フモノヲ設ケマシテ、サウ云フ農業ニ付テノ基礎的ノ研究ヲヤラセルト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、是等ノ研究ニ依リマシテ、サウ云フ天災ニ對スル對策、又農業方面ニ付キマシテモ之ヲ克服スルヤリ方ト云フヤウナコトニ付テモ是ハ根本的ニ研究ヲ致スデアラウト思フノデアリマスガ、只今御話ノヤウナ、サウ云フヤウナ色々ノ文獻ト云ヒマスガ記録ト云ヒマスガ、サウ云フヤウナモノヲ一般ニ示シテ、其ノ天災ニ對シテ之ヲ克服スル心構ヲ強クスルト云フコトニ付キマシテハ、是ハ御趣旨ハ至極宜カラウト思ヒマス、之ニ付テハ能ク文部省トシテ考慮シタイト考ヘマス

ナ議會答辯ト云フヤウナ意味デナイヤウニ、私ハ是ハ極メテ重大ナ點ダト考ヘテ居ル次第ナノデアリマス、私自身多年小學校ノ教育ニ携ツタ者デアリマスルガ、實ハ此ノ點ヲ忘レテ居ツタト云フ點ニ付テ非常ニ懺悔シナケレバナラヌヤウナ氣持マデ持つテ居ルヤウナ次第デゴザイマスカラ、ドウカ私等ノ意ノアル所ヲ一ツ御酌取り下サイマシテ、此ノ點ダケハ是非一ツ何等カノ形デ、少クモ青年ニ對シテハ此ノ心構ヲ持タセルヤウナ御方針ヲ具體的ニ一ツ御示アラシコトヲ御願致シタイト思フノデアリマス、ソコデ第一ノ自然カラノ特殊性ト云フモノニ付テノ御施設ヲ願ハナケレバナラヌト云フ質問ナノデアリマスガ、ソレハ、東北ノ農業經營ト云フモノハ御存ジノ通り勞力ガ短日月ノ間ニ集中サレルト云フ特殊性ヲ持つテ居ル、サウシテ冬ノ開始ド——私ノ縣ナドデハ六箇月ノ間ハ外ヘ出テノ農業ト云フモノガ不可能ノヤウナ形ニナツテ居ルノデアリマス、是ハ出稼等デアア大體生活ノ資ヲ得テ居ルト云フヤウナ次第ナノデアリマス、甚ダシイ村ナドニ至リマスルト、老人ヤ十八歳以下ノ子供ヲ除イタ男ノ約九割ハ冬ノ出稼ト云ツタヤウナコトニマデ行ツテ居ル、所ガ此ノ給料ナドト云フモノハ極メテ低イノデアリマシテ、家庭生活ノ上カラ考ヘマシテモ、四箇月モ五箇月モ家ヲ明ケテ置クト云フコトハ面白クナイ事情モ發生シテ參リマスシ、經濟ノ點カラ考ヘマシテモ、其ノ程度ノ出稼ナドデハ洵ニ困ツテ居ルト云フヤウナコトデ、本當ニ生命線ノ最低ヲ歩ンデ居ルト云フヤウナ生活ヲシテ居ル農民漁民ガ非常ニ多イノデアリマス、其ノ點ヲ考ヘマスルト、

○森田委員 只今ノ點ドウカ一ツ、形式的

私等ハ此ノ冬期間ノ空イテ居ル餘剩勢力ト云フヤウナモノヲ、モウ少シ合理的ニ何トカ救済シテヤル施設ト云フモノヲ立テナケレバナラヌノデハナイカ、斯ウ實ハ考ヘテ居ル、是ハ農林省ノ御方々モ大分副業關係、又ハ農村工業等ノ點デ御考ニナツテオ居デニナツテ、著々此ノ點ハ進シテ參ツテ居ルヤウナ模様デアリマス、然レニ是ハ農林省ノ具體的ナ施設ヲ以ツテノミシテハ、到底目的ヲ達スルコトガ出來得ナイノデアリマシテ、結局ハ教育ノ方面モ亦此ノ農林省ノ施設ニ合フヤウナ形ニ訓練シテ行クノデナケレバ、本當ノ政府ノ目的ト云フモノハ到達セナイモノデアルト考ヘテ居ル、然ラバソレニ對スル所ノ教育上ノ施設ト云フモノガ、東北ノ特殊性ニ應ズル程度ニ出來テ居ルカト言ヒマスルト、私等ハサウ考ヘラレナイノデアリマス、然ラバドウ云フ具體的ナ方法ヲ講ズレバ宜イノデアルカト言ヒマスレバ、冬季間ノ餘剩勢力ヲ家庭工業ナリ、其ノ他ノ工業ヘ向ケヤウトスル爲ニハ、少クモ眼ト頭腦ト指トノ關係、是ノ訓練ヲ十分ニスルノデナケレバイケナイト云フコトハ、是ハモウ教育理論カラ考ヘマシテモ、ドナタモ異論ナイ所デアラウト思フノデアリマス、是ガ先程申上ゲマシタ東北人ノ缺點トシテノ表現洗煉ト云フ立場カラ見マシテモ、非常ニ意味ノアル點ダト私ハ考ヘテ居ル、主觀の意味カラ見ルト表現洗煉、客觀的ナ意味カラ見ルト、農村工業等ニ順應スル訓練、私等ハ教育上ノ施設ガ、之ニ適應スルモノヲ欲シト考ヘルノデアリマス、何ヲヤレバ宜イカ、サウスルト東北ノ特殊性ニ應ジテ「手工科」ヲ重視スルト云フコトガ、極メテ重要ナ教育上ノ施設ニナルト

考ヘルノデアリマス、ソコデ先程御願申上ゲマシタ凶作ノ資料ヲ與ヘ心構ヲ訓練スルト云フノト同ジ位ノ重要サニ於テ、手工科ヲ特ニ重視スルト云フ教育方針ヲ東北ノ爲ニ立テル必要ガアルノデハナイカ、是ガ本當ノ地方々々ニ應ジタル教育方針トナルモノノ一ツダト、斯ウ私ハ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、之ニ對シテ文部大臣ハドウ云フ御考ヲ持ツテオ居デニナリマスカ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○松浦國務大臣 只今ノ御話ノコトハ御尤モニ考ヘマス、是ハ例ヘバ師範學校等ニ於キマシテ、手工ヲ授ケマスル場合ニモ特ニ之ヲ重視シテ、師範學校ニ於テサウ云フ教員ヲ養成シ、其ノ教員ガ小學校ニ參ツテ其ノ意味デ教育スル、ドウシテモ師範學校ト云フモノガ其ノ本ニナツテ、手工教師ト云フヤウナ所ニ重點ヲ置イテ基ヲ作ツテ行ク、斯ウ云フコトデナケレバナラヌト思フノデアリマス、サウ云フ意味ニ於テ特ニ注意ヲスル必要ガアルカト存ズルノデアリマス

○森田委員 只今ノ御答辯デアリマスルガ、大體ニ於テ意見ハ一致スルヤウニモ見エマスルガ、併シマダ私ハ本當ノ狙ヒ所ト云フノガ、文部大臣ト一致スルカドウカニ付テ、今ノ御答辯デハ若干ノ疑ヲ持ツノデアリマス、ナゼト云ヒマスルト、實ハ私ハ師範學校ヲ卒業シテ者デアリマスガ、師範學校ニ於ケル手工科ト云フモノハ、非常ニ輕ク見ラレルノデス、ナゼ輕ク見ラレルカト云フト是ガ日本ノ畫一性カラ來ルモノデアリマス、ト言ヒマスノハ、日本ノ劃一的ナ教育ノ上デハ所謂文化的ナ科目ガ重要視サレル、ソレハ一般共通ナ抽象人ヲ造ルコト

ガ、日本教育ノ當面ノ目標ニナツテ居ルカラダト思フ、文部省ガ御示シナサル御方針トモ違フヤウナ意味ニ於テ、漠然トシテ抽象人ヲ造ルコトガ教育ノ目標ニナツテ居ル、ソコデ漠然トシテ一般文化ヲ尊重スルノデアリマシテ、手工科ノヤウナ、アア云フ實質的ナモノハ、社會一般ガソレヲ重視シナイト云フヤウナ點カラ、隨テ先生ノ頭ト云フモノモ、手工科ノヤウナモノハ成ベク輕ク見ルト云フヤウナ形ガ見エル、隨テ學校ノ生徒モ亦手工科ニ對シテ、科目ガアルノダカラ之ヲ習ハナケレバナラヌノダケレドモ、非常ニ大切ナモノダト云ツタヤウナ觀念デ手工科ヲ練習シテ居ルカト云フト、サウデハナイト云フ傾向ガアルノデアリマス、ソレハ何處カラ來ルノデアルカト云フト、要スルニ東北ノ特殊性トシテ手工科ト云フモノハ大切ナモノデア

ル、東北人ノ生活ニハ極メテ根本的ナモノダト云フコトヲ自覺シテ、ソレニ相應シイ手工專門ノ先生ニ對スル待遇トカ、或ハ政府モソレヲ重ク見テ居ルノダト云フ一ツノ空氣ガ馴致サレテ來ナイカラ、隨テ唯形ダケ手工科ニバツツ合セテ行クト云フ位ノ程度ニシカナナイト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ、私ハドウシテモ是ハ一ツ手工科ト云フモノハ東北地方ニハ極メテ重要デア

ルゾト云フ、根本的ナ文部省ノ態度ヲ東北ノ教育界ニ御示シナルノデナケレバ、假令手工科ヲ設ケテ居ツテモ、到底私等ノ要求スルヤウナ目的ハ到達シ得ナイモノト考ヘルノデアリマス、其ノ點カラ考ヘマシテ文部大臣ハ果シテ東北地方ニ於テハ、他地方ト比ベテ、手工科ハ重要視スベキモノデアルト云フ御方針ヲ御示シ下サル考ガアリ

マスカドウカ、此ノ點ニ付テ御同致シタイノデアリマス

○松浦國務大臣 只今ノコトハ十分其ノ意味ヲ徹底致シマスヤウニ努メツツアリマス

○森田委員 ソコデ私ハ一ツノ提案ヲ致シマシテ、是亦文部大臣ノ御考ヲ御同シタイノデアリマス、ソレハ唯漠然トシタ手工科、師範學校デヤツテ居ル今ノヤウナ手工科デハ、中々舊來ノ此ノ傳統的ナ空氣ト云フモノカラ逸脱スルコトハ出來ナイト思フ、此ノ空氣ヲ超越スルヤウナ形ノモノヲ何處カニ私ハ作上ゲナケレバナラヌノデハナイカ、本當ニ手工科ヲ重視ナサルト云フ御考デアリマスナラバ、手工ノ專科ノ先生、專科デナクトモ手工科ヲ主ニ持ツ先生ト云フモノヲ各學校ニ配置スル位ノ心持デナケレバ私ハウマクナイト考ヘルノデアリマス、此ノ意味カラ東北地方ニ特別ナ手工ノ師範學校ト云フヤウナモノヲ設ケタラドウカト云フ私ハ一ツノ試案ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテハ文部大臣ハドウ云フ御考デアリマスカ

○松浦國務大臣 特別ノ手工ノ師範學校ヲ設ケルト云フコトニ付キマシテハ考ヘテ居リマセス、師範學校ニ於ケル手工科ト云フモノノ專攻ニ依ツテ其ノ目的ヲ期シタイト考ヘテ居リマシテ、只今ノ所特別ニ手工ノ師範學校ト云フモノヲ設置スル考ハ持ツテ居リマセス

○森田委員 デハ時間モナイヤウデアリマスカラ、出來ルダケ簡單ニ申上ゲマスガ、瑞典、諾威、「フィンランド」邊リニ於ケル手工科ニ對スル一ツノ考ヘ方、隨テアノ地方ガ如何ニ工業的ニ訓練サレテ居ルカト云フ點ト對照致シマスルト、ドウモ東北地方ト云

フモノト共通シヤウナモノヲ持ツテ居ルヤウナ感シガ致シマシテ、私ハ是等ノ點ニ付キマシテハ、文部省ハ別箇ノ御考ヲ持ツコトヲ御願フシタイト思ヒマス、茲ニ私ハ右ノ希望ヲ申上デマシテ、其ノ點ニ對スル質問ヲ打切りタイト思ヒマス

モウ一點、是ハ簡單デ宜シウゴザイマスガ、昨年軍馬資源保護法其ノ他此ノ馬ノ増産獎勵、是ガ國策トナリマシテ、我ガ東北地方ハ此ノ國策ニ順應致シマシテ、相當ノ決意ヲ持ツテ増産ニ當ツテ居ルヤウナ次第デアリノデアリマス、所ガ最近獸醫ガ非常ニ不足ニナリマシテ實ニ困ルノデアリマス、世ノ中ガ進ムニ從ヒマシテ、ドウ云フモノカ、馬ノ病氣、豚ノ病氣ト云フヤウナ非常ニ妙ナ病氣ガ流行ツテ參ルノデアリマス、ソレデ増産ト云フコトニハ中々骨ガ折レルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、所ガ文部省デハドウ云フ御考デアリマスカ、舊來尋常六年ヲ卒業致シマシテカラ五箇年間學校ヘ入リマスル獸醫科ト農學校トヲ合併シタヤウナ學校ガ舊來地方ニアツタノデアリマスガ、ソレヲ獸醫科ノ方ヲ廢止ナサツタ、其ノ爲ニ今年デスカ、卒業生ガナクナルヤウナコトニナルト云フ狀況ニナツタノデアリマス、隨テ地方ニハモウ專門學校卒業生デナイト獸醫ニナレナイト云フコトニナル所ガ專門學校卒業生ト云フモノハ、ドウ云フモノカ地方ニハ容易ニ分配サレナイト云フヤウナ形デアリマス、殊ニ山村ニナリマスルト、容易ニ獸醫ヲ求ムルコトガ出來ナイト云フヤウナコトニナツテ來テ居ルノデアリマス、ソレガ非常ニ困ツタ問題ニナリマスノデ昨年實ハ私等ハ其ノ意味デ若シ其ノ程度ノ獸醫科ト云フモノガナクナルノデアラナラバ、

少クモ東北地方ニハ專門ノ獸醫科大學ヲ設ケテ貰ヒタイト云フ建議案ヲ出シタコトガアリ、時ノ文部大臣モ此ノ點ニ付テ考慮ヲ拂フト云フヤウナコトデアツタノデアリマスガ、今年ノ豫算ヲ見マスルト、是ハ計上サレテ居ナイト云ツタヤウナコトデアリマス、ソレトモウ一ツハ馬ノナイ所ニ農林學校ニ獸醫科ヲ附設シテ、一時ノ間ニ合フヤウナモノデヤラウト云フコトニナツタ、馬ノ實驗材料ノナイ所ニサウ云ツタヤウナ附設サレタ專門科ナドヲ設ケタト聞キマスガ、サウ云フ臨床上ニ經驗ヲ持タナイヤウナ獸醫ナドニ馬ナド、トテモ預ケラレルモノデモナイノデアリマス、其ノ點ナドモ考ヘマシテ、私等ハ地方ニ元ノヤウナ尋常六年ヲ卒業シテ五箇年間學問ヲシマシタナラバ、

獸醫ヲ爲スコトガ出來ルト云フ特例ヲ又復活シテ貰ヒタイ、斯ウ云フヤウナ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレト同時ニ今ノ獸醫科大學ト云フヤウナモノヲ東北地方ニ設ケテ貰ヒタイト云フ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテ文部省デハドウ云フ御考ヲ持ツテ居ルノデアリマスカ
○松浦國務大臣 獸醫ノ養成ノコトニ付テ御尋デアリマスガ、獸醫ノ養成ト云フコトニ對シマシテハ、盛岡高等農林學校ノ獸醫科ノ學生ノ増募ヲ昨年カラ既ニ致シマシテ、段々卒業生ガ出ルニ從ツテ、獸醫ノ數ガ殖エルガラウト思ヒマスガ、今回又其ノ外ニハ農林省ノ方カラ獸醫師ノ不足ニ鑑ミマシテ、獸醫師法ニ依ル資格ノ特例ヲ設ケル、サウシテ中等程度ノ獸醫科ヲ出タ者デアリマシテモ、市町村或ハ畜産組合其ノ他ノ團體ノ職員トシテ、其ノ所屬ノ家畜ノ診療治療ニ從事スル資格ヲ與ヘル、斯ウ云フ

法律案ガ只今貴族院ニ提案サレテ居リマシテ、何レ衆議院ニモ廻ツテ來ルト思ヒマスガ、其ノ法律案ニ依ル資格ノ特例ニ伴ヒマシテ、文部省トシマシテモ、是ハ東北バカリデハアリマセヌケレドモ、農業學校ニサウ云フ意味ノ中等ノ獸醫科ト云フモノヲ設置致シマシテ、サウシテ所謂獸醫手ト申シマスカ、サウ云フ人ノ養成ヲ圖リタイト云フコトニ相成ツテ居リマシテ、東北地方ハ何レ畜産ノ盛ナ所デアリマスカラ、サウ云フ獸醫科ヲ設ケラレル學校モ相當出來ルカト思ヒマス、其ノ點ハ目下計畫中デアリマスカラ、何レ近イ中ニ追加豫算トシテ計上サレルコトニ相成ラウト思ヒマス、獸醫大學ト云フコトハ是ハ只今ハ考ヘテ居リマセヌ、何レ篤ト考慮致シマスガ、只今ノ計畫トシテハソレハ考ヘテ居リマセヌ、其ノ意味ニ於キマシテ東北方面ニ於テ盛岡高等農林學校ノ獸醫科ヲ擴張致シタイト斯樣ニ考ヘテ居リマス

○森田委員 聞ク所ニ依リマスト今年ノ豫算ニ獸醫專門學校ヲ計上セラレテアツタノダガ、國費ノ關係デ削除サレタノダト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、果シテ其ノ通りデアリマスカ、若シサウダト致シマシテモ、今年ハ已ムヲ得ナイト致シマシテモ、明年度ハヤハリ再ビ計上ナサル御積リデアリマスカ、其ノ點ヲ伺ツテ置キタイ
○松浦國務大臣 其ノコトハ私承知致シテ居リマセヌ
○野村委員長 木村君、大臣ハ十一時カラ貴族院ノ豫算委員會ヘ約東ガアルノダサウデスカラ、極ク簡單ナラ御許シ致シマス、——木村君
○木村委員 今東北ノ特殊性ノ御話ガアリ

マシタガ、森田君ノ質問ニ對シマシテ東北ノ特殊性ヲ御認メニナツテ、ソレヲ織込シテ教育ヲ考ヘテ見ヨウト云フ御話デアリマシテ、非常ニ結構デアリマス、唯問題ナノハ東北ノ特殊性ノ問題デアリマスケレドモ、東北ノ特殊性ハ所謂淳風美俗ヲ未ダニ保存シテ居ル、言ヒ換レバ人類共通ノ隣保相助ノ精神ガ未ダ減シデ居ナイ、茲ニ東北ノ特殊性ガアル、モット大膽ニ申シマスト歐米ノ資本主義文化ガ比較的東北ヲ蠶食シテ居ナカツタト云フコトガ、是ガ東北ノ特殊性デアリマス、此ノ特殊性ヲ文部大臣ガ日本ノ教育ノ全般ニ及ボサレマシタナラバ非常ニ結構ダラウト思ツテ居ル、最近滿洲ノ移民地ナシカラ廻ツテ見マス、東北人ハ非常ニ完全ナ民族協和ヲ行ツテ居リマス、關西方面ノ人々ハドウカト云フト民族協和ハ行ハレテ居ナイ、學校教育ヲ受ケタ者ト受ケナイ者トノ差ガ非常ニ出テ居ル、防空演習ナシカラ見ルト、下町方面ノ防空演習ノ狀態ハ、皆一生懸命ニナツテ、商賣ヲ休シデ働イテ居ル人ガ非常ニ多イノデアリマスガ、山ノ手方面ニ於テハ兎角冷淡デアリマス、文部省ノ御役人サン達ニ、果シテ防空演習ガアル時ニ、商賣ヲ休シデヤルダケノ熱意ガアルカドウカ疑問デアルト思フ、東京ニ於ケル下町方面ト山ノ手方面トノ差、所謂教育ヲ受ケタ者ト、比較的近代ノ教育ヲ受ケナイ者トノ差ト云フモノガ、國家觀念ニ非常ニ隔ツタル現レヲ呈シテ居ル、最近オ偉イ人々ノ講演ナシカラ聞イテ居リマス、結論ハ皆斯ウナシマス、戰爭問題ニ因ハレテ、最後ハ民族闘争ダ、必ズ民族闘争ガ起ル、弱肉強食、優勝劣敗デアルト云フヤウナ議論ガ公然ト行ハレテ居ル、ソレハ

第六類第四號 東北興業株式會社法中改正法律案外一件委員會會議錄 第九回 昭和十五年三月二日 一四三

何處ニ原因ガアルカト云フト、教育制度ノ缺陷デアリマス、私ハ民族問題ニナルトドウシテモ民族協和デ行カナケレバナラスト思フ、民族協和ノ實際ハ合衆國ニ見ルコトガ出來ル、各民族デ合衆國ヲ作ツテ盛ニヤツテ居ル、「ヒトラー」ハ「チエッコ・スロヴァキア」ヲ合併致シマシテ、民族協和ノ國家ヲ作ルンダト云フコトヲ放送シテ居ル、露西亞ノ最近ノ狀態ヲ見マスト、如何ニ多クノ民族ヲ自分ノ國家ノ勢力下ニ集メテ行クカト云フコトガ大キナ問題デアル、ソコデ文部大臣ハ在來ノ方針ヲ一擲サレマシテ、民族協和ノ精神ヲドウ云フ風ニ織込シテ行クカ、言換ヘレバ東北人ノ特殊性ヲ多分ニ日本ノ教育ノ中ニ織込シテ行クカト云フ、此ノ御考ガ教育問題ニ對シテオアリニナルカ、之ヲ御伺シタイト思ヒマス、是ハ根本問題デアリマス

○松浦國務大臣 農村ニ於キマシテ昔カラアル所ノ淳風美俗ト云フモノヲ維持スルト云フコトハ無論必要デアリマシテ、是ガ東北ニ於テ強ク其ノ特色ヲ持ツテ居ルノハ洵ニ喜ベキデアルト思ヒマス、從來ニ於キマシテモ農村ノ醇風美俗ヲ維持スルト云フコトニ付テハ出來ル限リ努メテ居ルノデアリマシテ、ソレガ都會地ニ於テハ自然環境ノ關係カラ農村程或ハ行キ兼ねルト云フ感ジガアルカモ知レマセヌガ、ソレハ其ノ環境ニ依ルコトデアリマシテ、教育ノ方針トシテハ何處マデモ醇風美俗ヲ保持シテ行ク、斯ウ云フコトニ在來ト雖モナツテ居ルノデアリマス、況ンヤ今後ノ教育ニ於キマシテハ、尙更其ノ點ハ努メナケレバナラスノデアリマス、無論其ノ方針デ今後ヤツテ行クト云フコトニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○中田委員 先日來木炭飢饉ニ對スル中等學校生徒及ビ青年團ノ動員問題ニ付テ、山林局長トノ間ニ可ナリ論議ヲ交サレタ譯デアリマス、私ハ勤務奉仕ト云フコトハ非常ニ宜イコトデアリ、又學校教育トシテ勤務教育ト云フコトモ非常ニ考ヘナケレバナラスト云フコトノ根本ニハ何等ノ異存ガナイノデアリマスガ、唯併シテ様ナコトヲスル上ニ於テハ、其ノ學校々々ニハヤハリ一定ノ學年間ノ計畫ガアルノデアルカラ、其ノ計畫ト能ク見合セテ斯様ナコトヲヤルベキモノデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ先般山林局長ニ伺ヒマスト、強ヒテ無理ニヤツテ吳レト言ツタ譯デハナイ、唯斯ウ云フ場合デアルカラ、奉仕的ニヤルト云フコトハ適當ナコトデアルト考ヘテヤツタコトデアアルカラ、學業ヲ抛擲シテマデモヤツテ吳レト要求シタ譯デハナイト云フ御話デアリマス、併シ一旦文部大臣カラノ訓令ト言ヒマスカ命令ト言ヒマスカ、サウ云フモノガ出マスト、地方ノ縣ナドデハ非常ニ之ヲ重大ニ取ルノデアリマシテ

〔委員長退席、庄司委員長代理著席〕

隨テ現實ノ狀態トシテハ農林學校ハ勿論ノコト、中學校アタリデモ半バ生徒ハ學業ヲ休ンデ炭焼ヲヤツテ居ルト云フ狀態デアリマシテ、可ナリ生徒ハ過勞ニ陥ツテ居ル、ソレカラモウ一ツハ次カラ次ト此ノ時局以來色々ナ新規ノ行事ガ重ナツテ來ルノデ、落付イテ學業ヲ勉強スル氣持ガ段々薄ライデ來テ居ル、斯ウ云フヤウナコトハ私非常ニ重大ニ考ヘナケレバナラス問題デアルト思フノデアリマス、又最近動モスレバ何デモ彼デモ色々ナコトガ突發スレバ青年團、在郷軍人ト云フモノニ對シテ自由労働者ノ

ヤウナ考方ヲシテ居ルト云フコトハ甚ダ怪シカラスト思フノデアリマス、現在ノ青年團員ト云フモノモ決シテ遊ンデ居ル譯デハナイ、ヤハリ一家ノ爲ニ相當働イテ職ヲ持ツテ居ル者デアルカラ、ソレニ對シテ上カラ系統的ニ色々ナコトヲ課シテ行クト云フコトハ、中央ニ於テ色々ナ計畫ヲサレテ行ク方々トシテハ相當ニ地方ノ實情ヲ慎重ニ考ヘナケレバナラスト思フノデアリマス、現在根本的ナ問題ハ私ハ何ト云フデモ教育ニ依ツテ將來ノ青少年ヲ本當ニ興亞ノ大任ヲ背負ヒ得ルヤウニ教育シテ行クト云フコトガ必要デアルト思フノデアリマスガ、現在ニ於テハ此ノ時局ノ影響ヲ受ケテ優良ナ教員ガ中々求メ得ラレナクナル、サウシテ次カラ次ハ當座ノ計畫ヲ重ネテ來ルト云フコトニナレバ、結局本當ノ教育ハ到底出來得ナイ狀態ニナツテ來ルト思ヒマスガ、是等ノ點ニ關シテ大臣ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス、特ニ木炭飢饉ニ關スル對策ノコトハ東北ニ關係ガ深いノデアリマスカラ御尋ヲ致ス次第デアリマス

○松浦國務大臣 學校ノ生徒ガ其ノ本分トシテ學校ノ學業ニ全力ヲ注イデ修養ニ努メルト云フコトハ勿論デアリマス、學業ノ習得ニ支障ヲ及ボサヌ計畫ノ下ニ又生産ノ擴充ニ御奉公致スト云フコトモ斯ウ云フ重大時局ニアリマシテハ無論ヤルベキデアリマス、要スルニ其ノ點ハ餘リ無理ナコトヲシナイヤウニ、學校ノ學習ト相反セザル範圍内ニ於テ學校ニ於テ其ノ校內ニ於ケル實際ノ事情ニ鑑ミマシテ、相當ノ御奉公ヲ致スコトガ一番適當デアラウ、唯無理ヲスル、ソレガ爲ニ學校ノ學習ニ多クノ支障ヲ來スト云フ場合ハ如何デアラウカト考ヘルノデアリマス、ソレハ何レ學校長ナリ、其ノ當事者ガ十分其ノ邊ノコトハ較量致シマシテ宜シキニ從フ、斯ウ云フ外ハナカラウト思ヒマス、青年團、在郷軍人會ニ付キマシテモ又自ラ揮ツテサウ云フ國策的ノコトニ寄與シヨウトスルモノガアレバ結構デアリマス、要スルニ餘リ無理ナコトヲシナイト云フコトニ要點ハ歸スルデアラウト考ヘマス

○中田委員 無理ヲシナイヤウニ期スルト云フ大臣ノ御說ハ御尤モデアリマス、唯能ク御考ヲ願ヒタイト思フコトハ、文部大臣カラ無理ヲシナイヤウニヤレト訓令ガ出テ、地方ノ知事、學務部長、校長ニ行ツタ時ニドウスルカ、無理ヲシナイ程度ノ手傳ヲシロト言ハレテ、ソレダケニ學校長ガ判斷シテヤレバ宜イガ、實情トシテハ、上ニ迎合スルト云フ言葉ハ適當デナイカモ知レマセヌガ、オ上カラノオ觸レニ對シテハ、何デモ彼デモ無理ヲシテヤルト云フコトガ實際デアル、現在木炭飢饉ニ對スル對策ハ中等學校ノ實情ヲ見ルト、可ナリ無理ヲシテ居ル、炭焼キノ性質上夜モ寢ズニ働カネバナラス、ソコニ無理ガアルト考ヘル、將來トモ、中央ニ於テ色々ナコトヲ御計畫ニナルニハ、ソレガ適當スルカドウカト云フコトヲ御檢討ニナツテカラ、色々ナコトヲ御計畫ニナツテ戴キタイ、適當ナコトヲシテト言ヘバ頗ル簡單ナ話デアリマスガ、實際ハサウハ出來マセヌカラ、此ノ點ヲ能ク御認識ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ點ヲ申上ゲテ私ノ質問ヲ終リマス

○森田委員 先程中絶サレタコトデアリマスケレドモ、私等ノ心配シテ居ルコトハ、北洋漁業ニ對シテハ東北地方、就中秋田、青森、ソレカラ岩手、是等ノ縣カラ四五万

ノ労働者ガ、三箇月或ハ四箇月位集中のニ
行ツテ居ルト云フコトナリデアリマスガ、
此ノ點ハ實際ドウ云フヤウナ狀況ニナツテ
居リマス

○**栗屋政府委員** 東北カラ北洋漁業ニ参加
シテ居リマス漁業者ノ數ハ私共ノ調ニ依リ
マスト二万六千九百二十五、是ハ十三年度
ノ調デアリマスガ、大體サウ云フモノデア
ルト考ヘテ居リマス

○**森田委員** ソコデ私ガ心配致シマスコト
ハ、今日色々ノ労働力ガ他ノ方ニ廻ルヤウ
ナ關係ニナツテ居リマスノデ、將來トモ此
ノ労働力ヲソコニ集中シテ行クト云フコト
ニ付テハ、相當困難ガアルノデハナイカ、
斯ウ思ヒマスノデ、ソコデ之ヲ他ノ方ニ散
ラサナイヤウニスル方法ヲ考ヘナケレバナ
ラナイ、私ハ斯ウ思フ、是ハ無論政府ニ於
テモ之ニ反對ナ氣持ハ持ツテ居デニナラ
ナイデアラウト思フ、併シ今ノヤウニ三箇
月カ四箇月向フノ方ニ行ツテ働ク、其ノ分
ハ宜イノデスケレドモ、歸ツテ参リマシテ
カラ適當ナ仕事ガナイ、アツテモ旨ク連絡
ガ執レテ居リマセスト、此ノ仕事ガ他ノ方
ニ散ル、一旦散ツテシマヘバ、又來年度果
シテソコニ集中シ得ルヤウニナレルカナレ
ナイカト云フコトハ、斯ウ云フ世相ニナツ
テ参リマシテ、相當懸念シナケレバナラ
ナイコトダト思フ、ソコデ私御伺シタイコ
トハ、今度若シ北洋漁業ト云フモノガ統一
セラレルト云フコトニナリマシテ、若シソ
レガ先程局長カラ御示シニナリマシタヤウ
ナ内容ダケノモノデアルト云フト、労働力
トノ關聯ト云フモノハ、ソコニ中斷サレ
ト云フヤウナ心配ヲ多分ニ持ツノデス、ソ
レデアリマスカラ、私等ハ是ハドウニカシ

テ、今ノ東北地方ニハ東北地方ノ一ツノ團
體ト云フヤウナモノヲ設ケラレテ、此ノ團
體ト今ノ北洋漁業トノ間ニ一ツノ連鎖ヲ持
ツテ、サウシテ北洋漁業ノ方ニ参リマシタ
労働力ト云フモノガ歸ツテ参リマシタナラ
バ、東北地方ノ地元トノ間ニ一ツノ連鎖ヲ
執ツテ、コツチデ使用スル、向フニ行ク時
ハ向フト連絡ヲ執ル、斯ウ云フヤウナ連絡
ヲ執ルノデナイト、向フノ労働力モ困ルシ、
コツチノ労働力モ困ルト云フヤウナ現象ヲ
生ズルト云フコトヲ心配スル、是ハ心配バ
カリデハナイ、目下著々サウ云フヤウナ微
候ガ見エテ居ルト一般業者モ見テ居ルヤウ
デアリマスルガ、是等ニ對スル御考ハドウ
デアリマセウカ

○**栗屋政府委員** 北洋漁業ノ統制ト労働者
ノ關係ニ付キマシテハ、假令是ガ合同統一
サレマシテモ、別ニ從來ト違ツタ實質ノモ
ノニスルト云フ考デハナイノデアリマシテ、
會社ガ色々ニ分レテヤツテ居ルノ一ツニ
シテ、合理的ニヤツテ行クト云フノガ狙ヒ
所デアリマシテ、ソレニ從事シマス所ノ勞
働者關係ハ、ヤハリ從來ト同ジヤウナ關係
ヲ續ケテ行ク積リデゴザイマシテ、特別ナ
モノガ出來タカラ労働關係モ全く別ノモノ
ガ出來テ來ルト云フヤウニハ考ヘテ居リ
マセヌ、併シナガラ此ノ戰時ニナリマシテ
カラ、労働力ガ中々得ラレナイ實情ハ、私
共モ之ヲ認メテ居ルノデアリマシテ、此ノ
貴重ナル漁業ニ對シテモ、サウシタ方面ニ
相當ノ心配ヲシナケレバナラヌヤウナ實情
ニアリマス、併シナガラ之ニ付キマシテハ、
今御述ニナリマシタヤウナコトモ確ニ適當
ナ方法デアルト思ヒマシテ、労働ノ合理的
ナ配分ト云ヒマスガ、調節ト云ヒマスガ、

サウシタコトニ付キマシテハ、今後トモ一
層之ヲ重視シ、十分ニ考ヘテ行キタイト
思ツテ居ルノデアリマシテ、將來サウシタ
コトニナル場合ニ、特ニサウ云フ方面ニハ
十分ニ注意ヲシテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居
リマス

○**森田委員** 其ノ調節ノ關係ガ行ケバ
無論問題ハナイノデアリマスガ、其ノ調節ガ
果シテ行ク行カドウカニ付テハ、是ハ客觀
情勢ノ上カラ考ヘマシテ、相當懸念ニ堪ヘ
ナイモノガアル、是ハ局長サンモ私等ノ考
ニ同感デアルト云フコトデゴザイマスガ、
サウスルト私等ハ此ノ新ニ出來ルデアラウ
今ノ團體、其ノ中ニ東北地方ノ一ツノ漁業
者モ参加セシムルト云フコトニ依ツテ、主
體ノ間ニ連絡調整ヲ取ツテ、サウシテ今ノ
労働者ノ調節ヲ圖ルト云フコトガ一ツノ方
法デハナイカト云フ考ヲ持ツテ居ルノデア
リマスガ、之ニ對シテノ水產局長ノ御意見
ヲ御伺シマス

○**栗屋政府委員** 先程モ申上ゲマシタ通り、
北洋漁業ノ統制ト云フモノノ内容ハマダ決
ツテ居ラヌノデアリマス、此ノ場合今ノ御
尋ニ對シテ的確ナル御答辯ハ申上ゲ難イノ
デアリマスガ、併シ兎ニ角此ノ漁業ヲ進メ
ル上ニ於テ、労働關係ト云フモノハ非常ニ
重要ナ要素デアリマス、之ニ對シテハ特別
ナル考慮ヲ拂ツテ行キタイ、斯ウ云フ氣持
ヲ持ツテ居ルト云フ程度ノ御答辯ヲ致シマ
シテ、御諒承ヲ得タイト思ヒマス

○**森田委員** マダ出來テ居ラナイモノニ對
シテノ御答辯トシテハ、私モ一應諒承致シ
マス、併シ此ノ點ニ付テハ相當考ヲ致シマ
セスト、只今申上ゲタヤウナ労働關係ニ於
テ相當ナ問題ガ起ル、斯ウ見ルノデアリマ

シテ、希望トシテ私ハ將來主體關係ニ於
テノ關聯ト云フ意味デ、東北地方ノ人々ヲ
モ其ノ「ブロック」ノ中ニ入レルト云フヤウ
ナ形ヲ取ツテ戴キタイ、斯ウ云フコトヲ申
上ゲテ私ノ質問ヲ打切りマス

○**庄司委員長代理** 次ハ釘本君

○**釘本委員** ニツバカリ御聴キシタイコト
ガアルノデアリマスガ、出席ノ政府委員ノ
關係デ、其ノ中ノ一ツダケニシテ置キマス、
ソレハ東北ノ電力政策トデモ申シマスガ、
東北地方ニ於ケル電氣問題ニ關スルコトデ
アリマス、先程來頻リニ東北ノ特殊性ニ付
テ述べラレマシタガ、私ハヤハリ電氣問
題ニ付テモ、東北ニハ特殊ナ御取扱ヲ願ハ
ナケレバナラヌト思ツテ居ルノデアリマ
ス、現ニ東北振興電力會社ガ存在スルト云
フコト其ノコトガ電氣問題ニ付テハ、特別
ニ他地方ト違ツタ御取扱ヲ願ハナケレバナ
ラスト云フコトヲ立證シテ居ルト思フノデ
アリマス、隨ヒマシテ、先般來電氣ガ非常
ニ不足ヲ致シマシタ際ニ、東北モ他地方同
様電力ノ確保問題ト云フヤウナコトガ起リ
マシテ相當ニ騒イダノデアリマスガ、其ノ
際ニ東北振興電力會社ガアルニ依ツテ、他
ノ地方ト何カ違ツタ利益ガアツタコトガア
リマセウカ、伺ツテ置キタイノデアリマス、
若シ東北振興電力會社ガアリマシテモ、他
ノ地方ト同ジデアルトスルナラバ、東北振
興電力會社ハアツテモナクテモ同ジダト云
フ結論ニナルノデアリマスカラ、其ノ點ニ
關シマシテ、東北地方ハ東北振興電力會社ガ
アルニ依ツテ、ドレダケノ利益ヲ他地方以
上ニ得タカト云フコトヲ御聴キシタイノデ
アリマス、更ニ申上ゲルマデモナク、東北
地方ハ他地方ニ比較シマシテ資本ガ非常ニ

乏シイノデアリマス、故ニ若シ他地方ト同
様ノ方針デ小會社ノ合併統合法ヲヤラレマス
ト、東北地方ハ資本ノ力ガナイカラ自然他
地方ニ征服侵略サレマス、電氣事業ニ於キ
マシテモ自分ノ地方ニ發電所ヲ持つテ居ル
ダケデ、實際ノ權利ハ他地方ニ全部持つテ
行カレルト云フ虞ガアルノデアリマス、殊
ニ私ノ居ル福島縣ナドハ東北デモ南方ニ位
シテ、東京ニ近イ關係上其ノ虞ガ一層アル
ノデアリマス、小會社ノ合併方針ヲ逡信省
ガ全國畫一的ニ決メテ其ノ方針ヲ強行サレ
マス、折角多年苦心シテ縣内ニナツタ會
社ガ資本ノ關係外ノ地方ニ持つテ行カレ
ルト云フコトニナツテ參ルノデアリマス、
故ニ私ハ其ノ點ヲ十分御考慮下サイマシテ、
逡信省ガ机ノ上デ勝手ニ決メニナツタ方
針ヲ、地方ノ事情ヲ顧慮シナイデ、或ル場
合ニハ小會社ヲ脅迫スルヤウナ態度ヲスラ
シテ無理ニ合併ヲ強行スルヤウナコトハ
シテ戴キタクナイト思フノデアリマス、是ハ
資本ト云フ點デ十分他地方ト競争スル力ヲ
持つテ居ルナラバ宜シイノデアリマスガ、
前申ス通り何分資本ノ點デハ到底他地方ト
對抗スル力ハ持つテ居ラスノデアリマスカ
ラ、ドウシテモ合併ナドト云フコトハ自然
東北地方ガ他地方ノ勢力ニ征服サレコト
ニナルノデアリマス、具體的ニ例ヲ上ゲテ
モ宜シイノデアリマスガ、餘リ當リ障リガ
出來マスカラ其ノ點ニハ觸レマセス、兎ニ
角全國畫一的ノ方針デ東北地方ノ電氣問題
或ハ電氣會社ノ合併問題ヲ御取扱下サルト、
折角東北振興電力會社ガ出來テモ何等ノ恩
惠モ受ケズ、東北地方ハ其ノ點ニ於テモ益、
不利ナ立場ニ立ツ結果ニナツテ參ルノデア
リマスカラ、其ノ點十分御考へ願ヒタイト思

フノデアリマス、之ニ付テ政府ハドウ云フ
御方針ヲ持つテ居ラレマスカ、其ノ點ヲハ
ツキリ御伺シテ置キタイト思フノデアリマ
ス
○森政府委員 御尋ノ第一點ニ付キマシテ
ハ、昨年ノ八月以來已ムヲ得ザル事情ノ爲
ニ東北地方ノ福島縣ノ一部ニ於テ電力ヲ制
限シナケレバナラスコトニナツタノデアリ
マスガ、是ハ其ノ方面ニ送ツテ居ル電力ノ
一部ニ日本發送電會社ノ電力ガ行ツテ居リ
マス、而モソレハ普通ノ一年ヲ通シテ使ヘ
ル電氣デアリマセヌノデ、大體ハ福島縣ニ
於テ發電サレル他ノ東北地方固有ノ會社ガ
ヤツテ居リマスガ、其ノ電氣デハ足りマセ
ヌ爲ニ一部補助的ノ電力ヲ送ラナケレバナ
ラスヤウナ事情ガアツタノデアリマス、先
程御話ガアリマシタヤウニ、東北全體トシ
テ見タ場合ニハ、幸ヒシテ曩ニ御協賛ヲ得
マシタ東北振興電力會社ノ發電所ガ漸ク二
年前前カラ發電ヲ開始致シマシテ、現在ニ
於テハ一縣ダケヲ除イテアトノ縣ハ總テ東
北振興電力會社ノ電力ガ行渡ルヤウニナツ
タノデアリマス、サウ云フ狀態ニ於キマシ
テ他ノ關西或ハ關東ノヤウナ工合ニ、石炭
ノ問題ノ爲ニ、或ハ渇水ノ問題ノ爲ニ停
電シナケレバナラス、制限シナケレバナラ
スト云フヤウナコトナシニ、他ノ地方ハサ
ウ云フコトニナツテモ大體東北地方ハ東北
振興電力會社ノ手ニ依ツテ非常ニ完全ニ供
給ガ出來ルヤウニナツタ譯デアリマシテ、
御話ノ通りニ東北振興電力ガアツタ爲ニ他
ノ地方ヨリハ餘程電力ノ供給ガ工合宜ク行
ツタノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第
デアリマス

第二點ノ東北方面ノ電氣事業ノ統合ノ問

題ニ付テハ、只今ノ御話モゴザイマシタガ、
元々統合ト云フノハ大體ニ於テ需要家ノコ
トヲ考ヘテ、小サナ會社デ料金モ高イ、或ハ
「サービス」モ宜クナイト云フコトニ目ヲ
著ケマシテ、寧ロソレヨリモ大キナ會社デ
電力モ豐富ニアリ、「サービス」モ宜イト
云フ會社ニ合同サレタ方ガ全體カラ見テ宜
カラウト云フ見地ヲ以テヤツテ居ル譯デア
リマス、唯其ノ間ニ於テ各地方々々ノ事情
ガアリマスカラ、サウ畫一的ニ唯形式的ニ
ヤルト云フコトデナシニ、從來ノ沿革、其ノ
他色々ノ事情ヲ考ヘテ、合併スルノニ最モ
妥當性ガアルト云フ會社ヲ選ンデヤルト云
フコトニナツテ居リマス、唯御話ノ點、或
ハ吾々ノ考ノ足りナイ點ガアルカト思ヒマ
スカラ、今後ニ於テハ尙ホ一層實情ヲ顧慮
シテ出來ルダケサウ云フ方面ノ問題ノナイ
ヤウニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○釘本委員 大體只今ノ御答辯デ分ツタヤ
ウデアリマスガ、尙ホ一層具體的ニ御説明
ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、東北振興
電力會社ガ出來タコトニ依ツテ他ノ地方ガ
昨年來ノ電力問題デ非常ニ騒イダ際ニモ影
響ガ少カツタデアラウト云フヤウナ御話デ
アリマシタガ、福島縣ハ青森、岩手トハ多
少事情ガ違フカモ知レマセスガ、少クトモ
福島縣デハ東北振興電力會社ガ出來タ爲ニ
電力不足ガ他ノ地方ヨリ少ク感ジタト云フ
ヤウナコトハナイ、其ノ證據ニ縣會等デモ
大分ヤカマシイ問題ニナツテ、陳情委員等
ガ幾度モ東京ニ出テ參ツタ、サウ云フ事情
デアリマスカラ、需要ニ對シテドレダケノ
供給ヲ爲シタカ、ソレガ東北地方デハドン
ナ數字ニナツテ居リ、他地方デハドンナ數
字ニナツテ居ルカト云フコトヲ具體的ニ御

示願ヒタイト思フノデアリマス
更ニ第二ノ點デアリマスガ、御話ノヤウ
ニ需要家ノ利益ヲ本位ニシテ小會社ノ併合
統制ヲ行フコトハ至極結構デアリマス
〔庄司委員長代理退席、委員長著席〕

唯逡信省ガ地方ノ事情ヲ顧慮シナイデア
ノ案ヲ立テラレマシタ結果先程申シマシタ
通り資本的ニ他地方ノ侵略ヲ受ケテ、東北
地方ニハ事實上電氣事業ガナクナル結果ニ
ナルノデアリマスカラ、其ノ點ヲ十分御考
下サイマシテ、若シ需要家ノ利益ヲ考慮シ
タ何等カノ施設ヲ地方ガ自發的ニスルト云
フヤウナ場合ニハ、ソレヲ十分ニ御考
ヘ願ヒタイト思フノデアリマス、サウデ
ナクシテ一旦立テタ案デアアルカラソレヲ
何處マデモ強行シナケレバナラスコト云フ
コトニナルト、地方ノ實情ト大變衝突ヲ來
シマシテ、餘計ナ相剋摩擦ヲ起ス虞モアル
ノデアリマスカラ、ドウゾ先程申上ゲマス
通り、地方ハ地方ノ實情ニ即シタヤウナ計
畫ヲ立テタラバ、其ノ計畫ヲ十分ニ尊重
サレテ、地方ノ希望ヲ容レルト云フヤウ
ナコトニ御願シタイノデアリマス、是ハ殊
更答辯ヲ求メル程ノ必要モナイノデアリマ
スガ、現ニ福島縣ニハ差迫ツタ問題モアル
ノデアリマスカラ、其ノ點ヲ繰返シ申上ゲ
マシテ、逡信當局ノ御反省ヲ促シテ置キ
タイト思フノデアリマス
先程申上ゲマシタ東北地方ト他地方トノ
需要ニ對スル供給ノ割合等數字ヲ以テ御示
シ願ヘルナラバ御示シ願ヒタイト思ヒマス
○森政府委員 先程御答申上ゲマシタ中デ
關東地方ニ關聯シテ東北地方ノ制限電力ガ
凡ソドノ位ニナツテ居ルカト云フヤウナ御
問デゴザイマシタガ、關東地方カラ東北方

面ニ發送電會社ノ手ニ依ツテ融通サレテ居
リマス電力ハ、主トシテ問題ニナリマシタ
ノハ東北振興電力ニ對スル電力デアリマシ
テ、ソレハ夏季ニ於テ約七千「キロワット」
冬ニ於キマシテ更ニソレヨリ一万「キロワッ
ト」ヲ増加スルト云フコトニナツテ居ツ
タノデアリマス、其ノ七千「キロワット」ト
云ヒマスノハ、先程一寸申上ゲマシタヤウ
ニ、東北振興電力ノ阿武隈川ノ寶萊發電所
ガ、灌漑時期ニハ田ニ水ヲ引カレマス關係
デ、相當電氣ガ減ルノデアリマシテ、其ノ補
ヒヲ付ケル意味デ七千「キロ」ノ電氣ヲ送ツ
テ居ツタノデアリマス、其ノ中ヤハリ關東
ノ方ニ於テ制限セラレマシタト同ジ率ニ依
ツテハツキリシタコトハ記憶致シマセ
ヌガ、約二割程度ノ制限ヲシタと思ヒマス、
ソレカラ冬ニナリマシテ、只今申上ゲマシ
タヤウナ一万「キロ」ノ増加ヲシナケレバナ
ラスノデアリマシタガ、ソレガドノ位デア
リマシタカ、豫定通りニハ行キマセヌデ、五
六千「キロ」位ノ當然行クベカリシ電力ガ行
カナカツタト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○野村委員長 此ノ問題ニ關聯シテ——木
村君

○木村委員 今釘本君カラノ御話モアリマ
シタガ、實際問題ト致シマシテ、在來ノ日
本ノ大キナ會社ガ持ツテ居リマシタ東北地
方ノ水利權ハ、殆ド日本發送電會社ガ受繼
ガレマシテ、未開發ノ場所ハ、所謂東北振興
電力會社ガ開發シ得ラレル箇所ト云フモノ
ハ殆ド採算ノ取レナイ場所ダケガ殘サレテ
居ルヤウナ狀態デアリマス、現在日本發送
電會社ガ持ツテ居リマスル阿賀川サウ云フ
方面ノ未開發地點約十三箇所ベカリ、之ヲ
其ノ儘開發シタダケデモ五十萬「キロ」ノ電

力ヲ得ラレル、ダムヲ造レバ八十萬「キロ」
カラ百萬「キロ」位マデ得ラレル狀態ニアル
ガ、現在ノ日本發送電會社ハ其ノ技術モ持
合セテ居ナイ、人力モ持合セテ居ナイ、其
ノ爲ニ未ダ之ヲ開發スルコトガ出來ナイヤ
ウナ狀態ニナツテ居ル、東北電力會社ガソ
レヲヤル權利ヲ持ツテ居ナイ、ソシテ殘サ
レタ場所ヲ開發致シマスレバ殆ド採算ガ取
レナイヤウナ狀態デアリマス、昨日カラ問
題ニナツテ居リマス松川君ノ質問デアリマ
シタカ、送電線ガ極メテ不完全デアル、所
所非常ニ壞レテ居ル、ソレダケデナク全東
北ニ互ル送電線ガ出來上ツテ居ナイ、サウ
云フヤウナコトカラ推シテ參リマスルト、ド
ウシテモ日本發送電會社ガ持ツテ居リマス
ル此ノ水利權ヲ東北電力會社ニ何等カノ形
デ權利ヲ移ス、ソシテ東北電力會社ガ之ヲ
開發シテ、安イ値段デ水力ヲ起シテ東北ノ
需要ニ充テルト云フ方針ヲ執ラナカツタナ
ラバ本當ノ振興ガ出來ナカラウト私ハ思ツ
テ居リマス、電氣廳ニ於キマシテハ實情ヲ
能ク御承知ノ筈デアリマスカラ、日本發送電
會社ガ持ツテ居リマスル阿賀川ノ方面ノ水
利權ノ一部ヲ東北電力會社ニ多スト云フ御
考ヲ現在御持チニナツテ居リマセヌカ、若
シ御持チニナツテ居ナイト致シマスナラバ
相當ノ理由ガアルデアラウト思ヒマスカラ、
其ノ理由モ併セテ御説明願ヒタイト思ヒマ
ス

○森政府委員 只今阿賀野川筋ノ例ヲ御取
リニナリマシテ東北振興電力會社ハ福島縣
ニ於テ將來開發スベキ良イ地點ガナイ、隨
テ福島縣ニ於テ特ニ工場其ノ他電力ノ需要
ガ非常ニ多クナル場合ニ不都合ヲ來スデナ
イカト云フヤウナ御尋ト伺ツタノデアリマ

ス、阿賀野川系統ノ水力地點ハ大體ニ於テ
既ニ水利使用ノ許可ヲ受ケテ居ルモノハ決
ツテ居ルノデアリマシテ、發送電會社ガ之
ヲ開發致シマスニ付キマシテモ其ノ水利權
ノ法律ニ依リマス所ノ——日本發送電會社
法ニ依リマス所ノ配電ヲ致サナケレバナラ
ヌ譯デアリマシテ、東北振興電力ト致シマ
シテハサウ云フ風ナ日本發送電會社ノ持ツ
テ居ル水利使用許可ノ地點ヲ東北振興電力
會社ガ之ニ代ツテヤル——代ツテヤルト云
フ譯ニハ行キマセヌデ、隨テ東北振興電
力ノヤリマス地點ハマダ許可ノナイ地點ダ
ケト云フコトニナリマス爲ニサウ云フ關係
ニナルノデアリマシテ、只今御話ノヤウ
ニ福島縣ノ方ニ工場其ノ他電力ノ需要ガ殖
エテ參リマスレバ、發送電會社ガ開發シテ
其ノ電力ヲ福島縣ニ卸ス、斯ウ云フ關係ニ
ナルカト存ジマス、只今御指摘ニナリマシ
タヤウニ日本發送電會社ガ或ハ工事ガ非常
ニ進ンデ居ラスデヤナイカト云フ風ナ御尋
モアリマシタガ、其ノ點ニ付キマシテハ吾
吾モ材料其ノ他ニ付キマシテ有ユル努力ヲ
拂ヒ、特ニ國內デモ有數ナル阿賀野川ノ水力
ノ今後ノ開發ニ付キマシテハ十分ニ鞭撻シ
テヤラセタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○木村委員 先程申シマシタ通り東北全般
ヲ見渡シマシテ有力ナ水力發電ヲ起シ得ル
場所ト云フモノハ福島方面ダケデアツタ、
其ノ方面ノ權利ト云フモノハ御承知デモア
リマセウガ、東京電燈ガ之ヲ握ツテ居ツテ、
十三箇所持ツテ居ツタ、其ノ權利ハ恐ラク
ハ日本發送電會社ガ其ノ儘引繼ガレテ居ル
ニ違ヒナカラウト私ハ思ツテ居リマス、ソ

コデ日本發送電會社ト同ジ國策ノ會社デア
リマス東北電力會社トノ間ニ、未開發ノ場
所ニ付テノ相談ガ出來ナイ筈ハナカラウト
私ハ思ツテ居リマス、現在ノ日本發送電會
社ニ任シテ置キマシタナラバ、電力飢饉ノ
今日イツ之ヲ開發出來ルカ分ラナイノデア
リマス、ソコデドウシテモ東北振興電力會
社ニ其ノ權利ノ一部分ヲ讓渡シテ開發サシ
タ方ガ適當デハナイカ、所ガ色々法律ノ
關係上云々ト云フ御話デアリマシタガ、私
ハサウ云フ法律上ノ議論ヲシテ居ルノデハ
アリマセヌ、逕信省ノ御考ト致シマシテ、
其ノ御考一ツデ、ヤラウト思ヘバ東北振興電
力會社ニ其ノ一部ヲ委讓セシメルコトガ出
來ルノデハナイカ、ソレガ東北振興ノ爲ニ
ナル、今年ノ計畫ヲ見デ居リマス、アツ
チコツチノ方面ニ水力發電所ヲ起サレルヤ
ウナ計畫デアリマス、東北振興電力會社ダ
ケデ發電所ヲ造ラレマシタ場合ニ於テハ、殆
ド採算ハ採レマスマイ、恐ラク地方、縣
廳、國家、是ガ三位一體トナリマシテ、各々
金ヲ出シ合ツテ發電所ヲ起シマシタナラ
バ、採算ノ採レル發電所ガ出來ルデアリマ
セウ、ケレドモ東北振興電力會社ダケデ發
電所ヲ造ラレテハ、絕對ニ採算ガ採レルヤ
ウナ會社ハ出來上ラナイノデアリマス、ソ
レヲ御承知ノ上デ色々案ヲ作ツテ居ラレル
コトハ、滑稽至極デアリマス、ソレヨリモ
モツト採算ノ採レル、而モ未開發ノ場所ヲ
日本發送電會社ガ持ツテ居ルノデアリマス
ルカラ、ソレヲ東北振興電力會社ニ委讓シ
テ、國策會社同志デアリマスカラ、相談シ
合ツテ、採算ノ採レル發電所ヲ福島ニ起サシ
メ、其ノ電力ヲ全東北地方ニ與ヘル、斯ウ
云フ方針ヲ御執リニナル方ガ、東北振興ノ爲

メナノデアリマス、ソレヲオヤリニナル考
ガ一體オアリデアリマスカドウカ、ソレヲ
ヤル考ガアルナラバアル、ナイナラバナイ、
ソコヲ大膽ニ御話願ヘレバ結構デアリマス、
生溫イ譯々シイ御話デハナク、ヤル考ガア
レバアル、ナイナラバナイ、諸否何レデモ
宜シイノデアリマスカラ明瞭ニ御答シテ戴
キタイノデアリマス、若シ出來テイト云フ
コトナラバ、ソレハ遞信省ノ古手官吏ノ住
ンデ居リマスアノ東北振興電力會社ヲ改
シナカッタナラバ、ソレヲヤルコトハ出來
マス、其ノ點ヲハツキリ御答辯願ヒタイノ
デアリマス

○釘本委員 私モ一寸——先程部長サンノ
答辯ノ中ニ阿賀川ノ水利權ハ日本發送電
社ニ許可ニナツテ居ルモノデアリカラ、ド
モモ仕様ガナイト云フ意味ノ御答辯ガア
ツタノデアリマスガ、既ニ許可ニナツテ居
ルモノデモ、東北振興會社ノ如キ特殊會社
等ニ對シテハ、ヤハリ其ノ讓渡ヲスルヤウ
ニ交渉スル、或ハ縣等ニ無理ニ迫ツテ許可
サセルト云フ方針ヲ執ツテ居ルノデアリ
マス、現ニ福島縣ニ於テ新田川ノ水利權ハ、
福島電燈會社ニ大體許可ニナツテ居ルノデ
アリマスガ、ソレヲ東北振興電力會社ガ最
近ニナツテ讓渡ヲ受ケテ、何カ交渉ヲシテ
自分デ工事ヲヤラントシテ居ルノデアリマ
ス、然ルニ其ノ新田川筋ノ水利權ハ、先程
木村君カラモ御話ノアツタ通りニ、餘リ
良イ水利權デハナイノデアリマシテ、算盤
ガ採レナイノデアリマス、ソレニ反シテ阿
賀川筋ノモノハ十分算盤ノ採レル水利權デ
アルノデアリマスカラ、既ニ許可ニナツテ
居ルモノデアルト致シマシテモ、發送電會

社ノ方デハ總身ニ智慧ガ廻リ兼ねマシテ、
仕事ノ行届カヌ處ガ十分ニアルヤウデア
リマスカラ、幾ラカデモ力ノ餘ツテ居ル
東北振興電力會社ヲシテ之ヲ行ハシメル
云フ方法ヲ執ツテ下サルナラバ、折角與ラ
ントシテ居ル事業ヲ興サセナイト云フヤウ
ナ悲シムベキ事態ヲ見ナイデモ濟ムノデハ
ナイカト思フノデアリマス、要スルニ東北
振興電力會社ノヤリ方ハ官僚癖ト云ヒマス
カ、下ノ方ノ弱者ニハ可ナリ強イ態度ヲ
以テ當ルノデアリマスガ、上ノ大キナモノ
ニ對シテハ餘リニ弱イ、自分ノ利益ナリ權
利ナリヲ主張スル力ガ足ラヌト思ハレルノ
デアリマス、故ニ私ハ阿賀川ノ水利權ハ少
クトモ日本發送電會社ト協力シテ、一日モ
早ク之ヲ開發スル方法ヲ探ツテ貰ヒタイノ
デアリマス、今ノ質問ニ併セテ其ノ點ニ關
スル御答辯ヲ願ツテ置キマス

○森政府委員 只今ノ問題ハ非常ニ色々考
ヘナケレバナラス點ガアルト思フノデアリ
マス、先程申上ゲマシタノハ、阿賀川筋ガ
東京電燈ニ許可ニナツテ居ルノデアリマシ
テ、ソレヲ建設命令ガ出マシテ、發送電
會社ガ開發スル時ニ限ツテ其ノ權利ガ發送電
會社ニ移ルコトニナツテ居リマス、發送電
會社ガ出來タカラ阿賀川ノ權利ガ移ツタ譯
デモ何デモナイノデアリマス、ヤハリ今持
ツテ居ル東京電燈會社ガ、默ツテ居レバ開
發スルコトニナツテ居ル譯デアリマス、先
程御話ガアリマシタヤウニ、若シ日本發送
電會社ガ色々都合デ工事ガ非常ニ遅レマ
シテ、東北方面ノ需要ニ追付カナイト云フ
コトニナリマスレバ、ソレハ捨テ置ケマセ
ヌカラ、ドウ云フ方法ヲ講ジテデモ開發ヲ
シナケレバナラスト思フノデアリマス、マ

ダ開店勿々デ、準備ガ十分ニ行カナカッタカ
モ知レマセヌケレドモ、今後ニ於キマシテ
ハ十分ニ力ヲ入レマシテ、出來ルダケ東北
ノ事情ニ合フヤウニ急イデ開發シテ行ク、
其ノ電氣ハ勿論東北振興會社ノ造リマス發
電所ノ電氣ト合セマシテ、福島縣其ノ他ノ
地方ニ分配スル、斯ウ云フコトニナルノデ
アリマシテ、今直グニ日本發送電會社ガ工
事ガ非常ニ進行シナイカラ、東北振興電力
會社ニヤラセレバ宜イノダト云フ御考ハ、
十分ニ研究スルコトニ致シタイト思ヒマス

○木村委員 電氣廳ニ居ラツシヤル部長サ
ンガ、現在日本デ一番大キイ聲デ電力飢饉
ト云フコトヲ言ツテ居ルノガ御分リニナラ
ナイノカドウカ、是ハ全國ノ問題デアルト
同時ニ東北ノ問題デアリマス、東北全體ハ
非常ニ電力ノ需要ガ多イ、特ニ只見川、阿
賀川ノ發電所ヲ造ルコトハ、——福島縣ノ
南部地方ハ御承知デモアリマセウガ、軍需
工業ガ非常ニ盛ニナツテ參リマシテ、地元
ノ需要ガ非常ニ多イダケデナク、東北全般ノ
需要ガ非常ニ多クナツタ、所ガ即座ニ開發
スレバ五十萬「キロ」ノ水力ガ得ラレル、
ムラ造レバ百萬「キロ」ノ水力ガ得ラレル
ト云フ權利ヲ東京電燈ガ握ツテ居ル、ソレ
ヲ日本發送電會社ガドウニデモスルコトガ
出來ル狀態ニナツテ居ル、所ガ技術ノ關係、
勞力ノ關係デ、日本發送電會社ガソレヲヤ
リ得ナイ、東北振興電力ハ許可サヘアレバ
即座ニ之ヲヤルコトガ出來ルノデアリマス、
今日ノ東北ノ電力飢饉ノ狀態ヲ電氣廳ノ人
ガ御覽ニナツテ、サウ云フヤウナ未開發
ノ寶ヲ現在ノ儘放シテ置クト云フコト
ハ、國家ノ爲ニ非常ニ不經濟ニナリマス、
ヤリ得ル力ヲ持ツテ居ル東北電力會社ガア

ルノデスカラ、ソレヲヤラシメルノガ東
北振興ノ爲ナノダ、斯ウ云フヤウナ誰ガ見
テモ分リ易イ問題ニ對シテ、ハツキリシタ
御答辯ノ出來ナイト云フコトデアツタナラ
バ、一體日本ノ電力界ヲ一手ニ握ツテ居ル
電氣廳ト云フモノハ何ヲシテ居ラレルノカ、
ソレデハ迎モ日本ノ國民ハ堪ツタモノデハ
アリマセヌ、其ノ點ヲモウ一遍ハツキリト
御返事ヲ願ヒタイ、ヤラウト思ヘバヤレル
コトナノデスカラ、ソナ生溫イコトヲ言ハ
ナイデ、一言斯ウ云フ考デ居リマスカラ、ヤル
積リデゴザイマストナゼ仰シヤレナイノデス、
ヤルナラバヤル、ヤラナイナラバヤラナイ、自
分ノ一存デハイカスカラ長官ト相談シテ明
日ナラ明日、今日ノ二時ナラ二時ニハツキリト
返事ヲスル、議會ガ始マルト政府ノ方ハ議會
ダケ通レテヤラウト云フ心理デ議會ニ臨マ
レルノハ、平時デアツタナラバ兎モ角、非
常時ニハ許スベカラザルコトデアリマス、
今出來ナケレバ、二時ナラ二時マデニ相談
ヲシテ返事ヲスルトカ、ハツキリト時間ヲ
限ツテ御返事ヲ願ヒタイ、簡單ナモノデス
カラ、アナタニハツキリシタ決心ガアレバ、
長官ト相談スレバ五分間モアレバ返事ガ出
來ル筈デス、其ノ點ヲハツキリ申シテ戴キ
タイ、遁レヨウトスル氣持ヲ持タズニ、正
真正銘ニ御返事ヲ願ヒタイ

○森政府委員 長官ト相談致シマシテ、此
ノ次ノ開會劈頭ニデモ御答致シタイト思ヒ
マス

○松川委員 私人質問致シマスコトハ、東
北振興ノ根本ノ問題デアリマスカラ、政府
ニ御聽キヲシタイト思フノデアリマスガ、
政府カラオ見エニナリマセヌノデ、東北局長
カラ代ツテ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、第

一、東北振興第一期綜合計畫ト云フモノ
ガ出來マシテ、其ノ豫算ガ三億二千三百萬
圓デ、大體三十項目ニ互ル所ノ事業ヲ營ム
ノガト云フコトヲ發表シテ戴イタノデアリ
マス、是ハ既ニ國策トシテ決定致シテ居ル
ノデアリマスルガ、其ノ後實際行ハレマシ
タ豫算ヲ見マスルト、昭和十二年ニハ僅ニ
二千五十餘萬圓、十三年ニハ二千二十餘萬
圓、十四年ニハ三千五百二十餘萬圓、十五
年度ニハ二千餘萬圓デ、是等ヲ合計致シテ
見マシテモ一億圓ニ足ラナイ所ノ金額デア
リマス、更ニ十六年度ニ第一期計畫ガ殘ツ
テ居リマスガ、恐ラクハ十六年度デ二億、
三億ト云フ豫算ガ出來ナイノハ分リ切ツタ
話デアリマス、ソコデ是ダケノ豫算ヲ以テ
果シテ政府ガ第一期綜合振興計畫ヲ完成
スルコトガ出來ルカ、若シ出來ナイトスル
ナラバ、之ニ對シテ如何ナル考ヲ持タレテ
居ルカ、御承知ノ如ク、今日ハ物價ガ騰貴
シ、物資ガ缺乏致シテ居ルノデアリマス、
恐ラク最初ノ計畫ノ三億二千三百萬圓ノ豫
算ヲ皆出シテモ、完全ナル所ノ事業計畫ハ
出來ナイダラウト思フノデアリマスガ、ソ
レヲ三分ノ一位ニ削ツタト云フ所ニ東北振
興ニ對スル内閣ノ熱ノ冷メタ所ガ現ハレテ
居ルノデアリマス、東北振興ノ爲ニ熱意ガ
アルト云ツテモ、之ヲ示スベキ所ノ豫算ヲ
年々減ラシテ居ツテ、事業ノ出來ナイヤウ
ナ計畫ヲ致シテ居ルナラバ、何トシテモ東
北振興ニ對シテ内閣ノ熱ガ冷メタト云ハザ
ルヲ得ナイノデアリマス、ドウカ此ノ點ニ
付テ第一期綜合計畫ハ果シテドウ云フ結
果ヲ齎シテ居ルカ、及ビ之ニ對シテ足リナ
イ部分ハ將來ドウスル積リカ、政府ガ出デ
居リマセヌケレドモ、少クトモ東北局トシ

テドウ云フ考ヲ持ツテ居ラレルカ、是ダケ
ヲ伺ツテ置キマス

○宇都宮政府委員 御話ノヤウニ、第一期
綜合計畫ハ、調査會ノ答申ハ五箇年間三億、
ソレカラ各省ノ所謂幹事案ト稱スルモノガ
一億九千萬圓、約二億圓、一年四千萬圓ト
云フ數字ニナル譯デアリマス、所ガ是ガ實
際ノ豫算ニ現ハレタ結果ヲ見ルト、今御話
ノヤウニ、十二年、十三年ハ約二千萬圓、
十四年、十五年度ニ於テ漸次殖エテ行クト
云フコトニナツタノデゴザイマスガ、其ノ
内容ヲ見マシテモ、初メ計畫致シマシタ趣
旨ニ副ハヌ所モゴザイマス、御話ノヤウニ
金額カラ言ヒマシテモ、又内容カラ言ヒマ
シテモ、初メノ期待ガ大分外レト云フコ
トハ是ハ事實デゴザイマス、是ハ色々國家
ノ財政其ノ他ノ關係デサウナリマシタノデ、
已ムヲ得ナカツタコトト思ヒマスガ、唯計
畫ノ施行中ニモ時勢ガ段々變ツテ參リマシ
テ、其ノ時勢ニ合フヤウニ多少修正サレツ
ツ豫算ガ實行サレテ居リマス、十分ト云フ
所デハゴザイマセマスガ、時局ニ合ヒナガラ
進行シテ居ル、今度十七年度カラハ第二期
云フカ、次ノ計畫ヲ立テテ、東北振興ト同
時ニ時局ノ要求ニモ合フヤウニシテ行キタ
イト考ヘテ居リマス

スル御考デアルカ、ソレカラ時勢ノ變遷云
云ト云フコトヲ局長ハ言ツテ居ラレ
ガ、時勢ノ變遷ハ費用ヲ多ク要シコソ
レ、之ヲ節約スル餘地ハ少シモナイノデア
リマス、例ヘバ東北、七百萬縣民ハ、東北
振興ノ此ノ計畫ガアツタ爲ニ、今マデ惠マ
レナイ所ノ東北民ガ是カラハ稍、好クナル
ノダ、文化ノ遅レテ居ル所ノ東北民ガ漸ク
全國的ノ人並ニナレルト云ツテ喜ンデ居ル、
所ガヤツタ結果ヲ見ルト、寧ロ私ハヤラナ
カツタ方ガ宜カツタノデハナイカト思フ、
例ヘバ道路ナドモサウデアリマス、東北振
興ト銘ヲ打ツテ所々國道ノ鋪裝道路ヲヤツ
テ居ル、都市ノ良イ所ノ一部分ヲ見本のニ
鋪裝道路ヲヤツテ居ル、斯ウ云フコトデ
ハ、折角ヤツタコトガ何モ效ガナイ、寧ロ
國道ヲヤルナラバ、或ル一點カラ一點マデ
繼續的ニヤレバ宜イ、例ヘテ申シマス、
岩手縣ノ如キハ、一ノ關町ノ町ノ半分位ヲ
國道鋪裝ヲヤツテ、ソレカラズツト飛ンデ
花巻、盛岡ニ行クト云フヤウナコトデア
ルノデアリマス、私共ハ、國道モ宜イガ、斯
ウ云フ見本ノ陳列ノヤウナ東北振興ノ計畫
デナク、一方ニシツカリシタ計畫ヲ立テテ
ヤツテ戴キタイト思フノデアリマス、ソコ
デ第二期計畫ニ付テハ又後デ御伺致シマス
ガ、第一期計畫ニ對シテ是ダケノコト

ハ、第一期計畫デ完成出來ナカツタコト、
或ハ事情ノ變化、其ノ他デ以テ旨ク行カ
カツタコトヲ上塗りスルノガ第二期綜合計
畫デアラウト思フ、第一計畫ヲ満足ニヤラ
ナイデ、ソレヨリモ不満足ナ第二期計畫ヲ
立テテモ、其ノ效果ハ發揮出來ナイト思
フ、第一期計畫ニ付テマダ十六年度ガ殘ツ
テ居リマスカラ、之ニ付テ政府並ニ東北局
ハドンナ考ヲ持ツテ居ラレルカ

○松川委員 ドウモ第一期計畫ガ片付カナ
イノニ第二期計畫ガ出テモ容易デナイト思
ヒマスガ、恐ラク第二期計畫ノ調査費ガ二萬
ナンボ位デ、十七年カラヤルト云ハレルガ、
私ノ聽キタイノハ、昭和十六年度太體第一
期計畫ガ完了ニナルノデスガ、豫算ガ相當
殘ツテ居ル、豫算ト申スト語弊ガアルガ、
マダ是カラ掛ケナケレバナラヌ金ガ澤山ア
ルノデアリマス、昭和十六年度ニ於テラドウ

ハ、第一期計畫デ完成出來ナカツタコト、
或ハ事情ノ變化、其ノ他デ以テ旨ク行カ
カツタコトヲ上塗りスルノガ第二期綜合計
畫デアラウト思フ、第一計畫ヲ満足ニヤラ
ナイデ、ソレヨリモ不満足ナ第二期計畫ヲ
立テテモ、其ノ效果ハ發揮出來ナイト思
フ、第一期計畫ニ付テマダ十六年度ガ殘ツ
テ居リマスカラ、之ニ付テ政府並ニ東北局
ハドンナ考ヲ持ツテ居ラレルカ

○松川委員 ソコデ私ハ東北局ノ機能ノ問
題ニ付テ一言致シタイト思フノデアリマス
ガ、現在ノ東北局ノ存在ハ遺憾ナガラ東北
振興ニ對シテ、十分ナル威力ヲ發揮シテハ
居ナイト考ヘルノデアリマス、之ヲ譬ヘテ
申シマスナラバ、極端ニ惡ク言フト盲腸見
タイナモノダト云ツテ居ル人ガアル、アツ
テモ宜イシナクテモ宜イシ、腹デモ痛クナ
ツタ時ニハ手術ヲシナケレバナラヌ、ソコ
デ東北民ハ東北廳ノ設置ノ問題ニ付テ考ヘ
テ居ルノデアリマス、東北局ハ今日東北兩
振興會社ヲ監督シテ、ソレカラ持ツテ來タ
モノハ幾ラカ抑ヘル、サウシテ上カラ持ツ
テ來タモノヲ何トカシロト云ツテ、結局上
ト下トノ板挾ミニナツテ、相剋摩擦ヲ防グ

ト言ツテモ、ドツチトモ付カヌヤウナモノ
ニナツテ居ルト思ヒマスガ、ドウカ此ノ點
ニ付キマシテハ、吾々ガ要望スル東北廳ガ
出來ナイニシテモ、東北局デハシツカリヤ
ツテ戴カナケレバナラス、現代ノ機構ノ上
ニ於テハ、或ハ場合ニ於テハ、東北局ノ監
督ガ餘リニヤカマシイ爲ニ仕事ガ出來ナイ、

鑑ミテ時局ニ適合シタヤウナ案トシテ行ク
ベモノデハナイカ、此ノ前或ル委員カラ重
點主義デ行ケト云フ御話モゴザイマシタ、
此ノ御話モ十分拜聴致シテ參考ニシタイト
考ヘテ居リマス

督ガ餘リニヤカマシイ爲ニ仕事ガ出來ナイ、
アレハ御無理モアリマスマイ、大藏省ナド
ハ豫算ヲ減ラスコトバカリ考ヘテ居リマス
ノデ、成ベク減ラスコトガ上司ノ意見デモ
アリマセウガ、其ノ結果東北振興ノ豫算ト
云フモノハ斯ウ云フ風ニ減ツテ來テ居ルノ
デアリマス、ドウカ斯ウ云フコトニ付テ東
北兩振興會社ノ監督ヲ嚴ニスルト共ニ、政
府ニ於テ東北振興ノ大ナル目的カラ言ツ
テ、東北局ト云フモノハモツト積極的ニ活
動シテ貰ヒタイ、是ガ私ノ希望デアリマ
ス、ソレカラ第二期ノ計畫ト云フ御話
デアリマスガ、其ノ第二期ノ計畫ニ付テ
ハ、大體如何ナル御腹案ヲ持ツテ居ラレ
ルカ、概略デモ宜シウゴザイマスカラ御聴
キ
シタイ

○松川委員 モウ一點簡單ニ御同致シマス、
ソコデ私ハ第二期綜合計畫ニ付テハ私ノ意
見トシマシテハ、第一期綜合計畫ハ其ノ實
效ガ舉ツテ居ラナイノデアリマスカラ、ド
ウカ第二期綜合計畫ヲヤル場合ニ於キマシ
テハ、第一期綜合計畫ノ足リナイ部分ヲ全
部補ツテ貰ヒタイ、是ガ先決問題デアリマ
ス、然ル後ニ今ノ或ハ重點トカ或ハ時局ニ
關シテ變更シタ問題ヲ盛ツテ貰ヒタイと思
ヒマス、ソレカラモウ一點ハ大體此ノ東北
兩振興會社ガ出來タト云フコトデ、政府並
ニ東北局ト云フモノガ之ニ主力ヲ注ガバ、
東北振興ノ目的ガ達成スルヤウニ考ヘテ居
ル人モアリマスカ、私ハ此ノ東北振興兩會
社ガ出來マシテモ、尙ホ政府及ビ東北局ト
シテ東北振興ノ爲ニ爲サネバナラス仕事ガ
澤山アルト思フ、例ヘテ申シマスカラバ、是
カラ申上ゲマス所ノ北上川ノ改修ノ問題ノ
如キ、或ハ道路港灣ノ改修ノヤウナ問題ノ
如キモノハ、恐ラク東北兩振興會社ヲ以テ
シテハ其ノ目的ヲ達シ得ナイト思フノデア
リマス、基本的ナ問題デアリマス、斯ウ云
フ基本的問題ニ付テ更ニ十分御努力ヲ願ヒ
タイト思フノデアリマスガ、政府ニ於テハ
恐ラクサウ云フ考ハアリマスマイト思ヒマ
スケレドモ、世間一般ニサウ云フ風潮ガア
ルノデアリマスカラ、此ノ際東北局ニ於テ
モ東北振興ノ爲ニ兩會社ヲ除イテ澤山殘サ
レタ仕事ガアルガ、今後ドレヲスルト云フ
御言明ヲ得タイト思ヒマス

○宇都宮政府委員 東北局ノ機能ニ付テ御
御意見ガゴザイマシタガ、十分拜聴致シマ
シテ研究致シタイト思ヒマス、ソレカラ第
二期計畫ニ付テドウ云フ腹案ヲ持ツテ居
ルカト云フ御話デアリマシタガ、是ハ只今出
テ居リマス豫算ニ第二期計畫ヲ立テマス委
員會ノ費用トシテ一万五千圓計上シテ居
リマスガ、是ガ御協賛ヲ得マシタナラバ、其
ノ費用ヲ以テマシテ委員會ヲ作ツテ、其ノ
委員會デ萬事決メラレルコトニナルト云フ
方針デ行キタイト思ヒマス、大體ノ方向ト
シテ私ノ方デ考ヘテ居リマス建前ハ東北振興
ガ主眼ニナルノデアリマス、同時ニ時局ニ

○宇都宮政府委員 第二期ヤル場合ニハ
第一期ノ足ラヌ所ヲ補ヘト云フ御話デアリ
マスガ、其ノ趣旨ニ付テハ能ク考究シタイ
ト考ヘテ居リマス、第二番目ノ東北振興ニ
付テハ會社ダケ出來ルモノデナイト云フ
御話、是ハ全ク御同感デアリマスガ、御指
摘ニナリマシタ例ヘバ北上川ノ治水事業其
ノ他地方ニ於ケル重要ナル問題ガ澤山ゴザ
イマス、之ニ付キマシテハ吾々モ及バズナ
ガラ主務省、關係省ト常ニ連絡ヲ執ツテ、其
ノ實現ヲ期シテ居ル譯デアリマス、或ハ民
間ノ會社ヲ誘致スルト云フコトモ是亦重要
ナコトデゴザイマシテ、是モ御話ノヤウニ
會社ノ仕事以外ノコトデゴザイマスガ、是
モ大事ナコトト考ヘテ居リマス、御趣旨ノ
點ハ全ク御同感デゴザイマシテ、其ノ趣旨
ニ依ツテヤリタイト考ヘマス

○林委員 議事進行ニ付テ申上ゲマス、段々
御質問ヲ拜聴シテ居リマス、頗ル重複
シタコトモ段々出テ參リマス、中ニハ唯聽
クダケ聽キ喋ルダケ喋ツテ出テ行ツテ、又
ヒヨツト出テ來テ一度聽イタコトヲ又聽イ
テ居ル、斯ウ云フコトニナレバ何時マデ經
ツデモ、此ノ委員會ノ結末ヲ見ルコトハ遲
延スルバカリト思ヒマス、ソコデ如何デセ
ウカ、私ハ委員長ニ御願シタイト思ヒマス
ガ、第一ニ長ク缺席シテ居ラレ方ガ質問
ヲナサル時ニハ、速記録ヲ御覽ノ上デ成ベ
ク重複ヲシテ戴カナイヤウニスル、ソレカ
ラモウ一ツハ大凡時間デモ何分位ト云フコ
トニデモシテ、何時頃此ノ委員會ガ終了ス
ルカト云フ見透シヲ付ケテ戴イテハドウカ
ト思フ、ソレカラ過日政府ニ對シテ庄司委
員カラ重要ナル質問ガアツテ、之ニマダ答
ガナイノデゴザイマスガ、アレハ私モ關聯

シテ申上ゲマシタ通り、アノ事ヲアノ儘ニ
シテ置イテハイカス、重役ノ退職問題ヲア
ノ儘ニシテ置イテハ、到底吾々ハ此ノ委員
會ヲ終了スル譯ニハ行カナイカラ、是モ委
員長カラ御催促ヲ願ツテ、速ニ委員會ニ御
報告ナサルヤウニ御運ビヲ願ヒタイト思ヒ
マス

○中田委員 簡單デスカラ一言……、私ハ
土木局長ニ御尋致シタイト思ヒマスガ、鑛
害地帯ニ於ケル河川ノ改修ト云フコトニ付
テ、御所見ヲ御伺シタイト思フノデアリマ
ス、ソレハ具體的ニ申シマス秋田縣ノ北
部ヲ流レテ居ル米代川ノ上流第二期計畫ノ
コトデゴザイマスガ、是ハ先年カラ實測ノ
調査ニ著手致シマシテ、其ノ調査ガ昨年結了
致シ、モウ計畫ヲ立テ得ル時機ニ到達シタ
ノデアリマス、此ノ米代川ノ特異性ト申シ
マスカ、曩ニ土木局長ニ詳シク申上ゲタノ
デアリマスガ、此ノ河川ハ秋田縣ノ鹿角郡、
北秋田郡、山本郡ノ三郡ヲ貫流シテ居ル川
デアリマシテ、此ノ流域ニハ、小坂、尾去
澤、阿仁合、毛馬内、小眞木、花輪等十數
箇所ノ重要鑛山ガアルノデアリマス、隨テ
是等ノ鑛山カラ流出スル鑛毒ガ始終問題ニ
ナリマシテ、地方ニ於テモ是ガ非常ナ大問
題ニナツテ居ルノデアリマス、先年尾去澤
ノ「ダム」ガ決潰致シマシタ際ニ、幸ヒアレ
ガ灌漑地デナカツタ爲ニ大シタ鑛毒賠償ノ
問題モ起ラズニ済ミマシタガ、若シアレガ
灌漑地デアリマシタナラバ、非常ナ大問題
ヲ起シタト思フノデアリマス、アノ當時モ
色々ナ問題ガ起ツテ急速ニ上流ノ改修ヲシ
ナケレバナラスト云フコトニナツテ、其ノ
結果尾去澤、小坂兩鑛山ニ交渉致シマシタ
所、兩鑛山ニ於テモ此ノ事情ヲ諒トシテ、

○中田委員 簡單デスカラ一言……、私ハ
土木局長ニ御尋致シタイト思ヒマスガ、鑛
害地帯ニ於ケル河川ノ改修ト云フコトニ付
テ、御所見ヲ御伺シタイト思フノデアリマ
ス、ソレハ具體的ニ申シマス秋田縣ノ北
部ヲ流レテ居ル米代川ノ上流第二期計畫ノ
コトデゴザイマスガ、是ハ先年カラ實測ノ
調査ニ著手致シマシテ、其ノ調査ガ昨年結了
致シ、モウ計畫ヲ立テ得ル時機ニ到達シタ
ノデアリマス、此ノ米代川ノ特異性ト申シ
マスカ、曩ニ土木局長ニ詳シク申上ゲタノ
デアリマスガ、此ノ河川ハ秋田縣ノ鹿角郡、
北秋田郡、山本郡ノ三郡ヲ貫流シテ居ル川
デアリマシテ、此ノ流域ニハ、小坂、尾去
澤、阿仁合、毛馬内、小眞木、花輪等十數
箇所ノ重要鑛山ガアルノデアリマス、隨テ
是等ノ鑛山カラ流出スル鑛毒ガ始終問題ニ
ナリマシテ、地方ニ於テモ是ガ非常ナ大問
題ニナツテ居ルノデアリマス、先年尾去澤
ノ「ダム」ガ決潰致シマシタ際ニ、幸ヒアレ
ガ灌漑地デナカツタ爲ニ大シタ鑛毒賠償ノ
問題モ起ラズニ済ミマシタガ、若シアレガ
灌漑地デアリマシタナラバ、非常ナ大問題
ヲ起シタト思フノデアリマス、アノ當時モ
色々ナ問題ガ起ツテ急速ニ上流ノ改修ヲシ
ナケレバナラスト云フコトニナツテ、其ノ
結果尾去澤、小坂兩鑛山ニ交渉致シマシタ
所、兩鑛山ニ於テモ此ノ事情ヲ諒トシテ、

○中田委員 簡單デスカラ一言……、私ハ
土木局長ニ御尋致シタイト思ヒマスガ、鑛
害地帯ニ於ケル河川ノ改修ト云フコトニ付
テ、御所見ヲ御伺シタイト思フノデアリマ
ス、ソレハ具體的ニ申シマス秋田縣ノ北
部ヲ流レテ居ル米代川ノ上流第二期計畫ノ
コトデゴザイマスガ、是ハ先年カラ實測ノ
調査ニ著手致シマシテ、其ノ調査ガ昨年結了
致シ、モウ計畫ヲ立テ得ル時機ニ到達シタ
ノデアリマス、此ノ米代川ノ特異性ト申シ
マスカ、曩ニ土木局長ニ詳シク申上ゲタノ
デアリマスガ、此ノ河川ハ秋田縣ノ鹿角郡、
北秋田郡、山本郡ノ三郡ヲ貫流シテ居ル川
デアリマシテ、此ノ流域ニハ、小坂、尾去
澤、阿仁合、毛馬内、小眞木、花輪等十數
箇所ノ重要鑛山ガアルノデアリマス、隨テ
是等ノ鑛山カラ流出スル鑛毒ガ始終問題ニ
ナリマシテ、地方ニ於テモ是ガ非常ナ大問
題ニナツテ居ルノデアリマス、先年尾去澤
ノ「ダム」ガ決潰致シマシタ際ニ、幸ヒアレ
ガ灌漑地デナカツタ爲ニ大シタ鑛毒賠償ノ
問題モ起ラズニ済ミマシタガ、若シアレガ
灌漑地デアリマシタナラバ、非常ナ大問題
ヲ起シタト思フノデアリマス、アノ當時モ
色々ナ問題ガ起ツテ急速ニ上流ノ改修ヲシ
ナケレバナラスト云フコトニナツテ、其ノ
結果尾去澤、小坂兩鑛山ニ交渉致シマシタ
所、兩鑛山ニ於テモ此ノ事情ヲ諒トシテ、

○中田委員 簡單デスカラ一言……、私ハ
土木局長ニ御尋致シタイト思ヒマスガ、鑛
害地帯ニ於ケル河川ノ改修ト云フコトニ付
テ、御所見ヲ御伺シタイト思フノデアリマ
ス、ソレハ具體的ニ申シマス秋田縣ノ北
部ヲ流レテ居ル米代川ノ上流第二期計畫ノ
コトデゴザイマスガ、是ハ先年カラ實測ノ
調査ニ著手致シマシテ、其ノ調査ガ昨年結了
致シ、モウ計畫ヲ立テ得ル時機ニ到達シタ
ノデアリマス、此ノ米代川ノ特異性ト申シ
マスカ、曩ニ土木局長ニ詳シク申上ゲタノ
デアリマスガ、此ノ河川ハ秋田縣ノ鹿角郡、
北秋田郡、山本郡ノ三郡ヲ貫流シテ居ル川
デアリマシテ、此ノ流域ニハ、小坂、尾去
澤、阿仁合、毛馬内、小眞木、花輪等十數
箇所ノ重要鑛山ガアルノデアリマス、隨テ
是等ノ鑛山カラ流出スル鑛毒ガ始終問題ニ
ナリマシテ、地方ニ於テモ是ガ非常ナ大問
題ニナツテ居ルノデアリマス、先年尾去澤
ノ「ダム」ガ決潰致シマシタ際ニ、幸ヒアレ
ガ灌漑地デナカツタ爲ニ大シタ鑛毒賠償ノ
問題モ起ラズニ済ミマシタガ、若シアレガ
灌漑地デアリマシタナラバ、非常ナ大問題
ヲ起シタト思フノデアリマス、アノ當時モ
色々ナ問題ガ起ツテ急速ニ上流ノ改修ヲシ
ナケレバナラスト云フコトニナツテ、其ノ
結果尾去澤、小坂兩鑛山ニ交渉致シマシタ
所、兩鑛山ニ於テモ此ノ事情ヲ諒トシテ、

實測ノ費用ヲ寄附シテ、實測ニ著手シタト云フ事情ニナツテ居ルノデアリマス、現在食糧問題ガ非常ナ重要ナ問題ニナリマシテ、殊ニ米産地方トシテノ東北ニ於ケル耕地保護ノ問題ガ非常ニ重大ナ問題ニナツテ居リマスガ、未墾地ヲ開墾スルヨリ、既墾ノ優秀ナ農耕地ノ災害ヲ防止スルコトが目下ノ急務ダト思ヒマス、此ノ米代川ノ上流ニハ約五千町歩ノ美田ガアリマス、是等ノ鑛毒水ガ氾濫スルト、殆下原始河川ニ等シイ河川デアリマスカラ、其ノ被害ハ測リ知ルベカラザルモノガアルト考ヘルノデアリマス、詳シクハ他ノ機會ニ於テ申上ゲルコトト致シマシテ、私ハ此ノ見地カラ致シマシテ、地方デハ一日モ早く此ノ米代川ノ上流ノ改修ニ著手シテ戴キタイト念願シテ居ルノデアリマス

更ニ私ハ此ノ際一ツ成ベク早く著手ヲ願ヒタイト云フ理由ノ一ツトシテ、現在ノ情勢カラ致シマシテ、是ハドウシテモ實際問題トシテハ、短期間ニ到底出來ナイト思ヒマス、三年若クハ五年ト云フコトハ計畫ハ立チマシテモ、到底出來ナイ、努力ノ關係、資材ノ關係デ、今マデ三年掛ツタモノガ五年、五年掛ツタモノガ七年十年掛ル、是ハ已ムヲ得ナイ、ソレデ著手ダケ成タケ早クヤツテ貰ハナケレバ、自然延ビテ來ルグラウト思フノデアリマス、斯様ナ意味ニ於キマシテ此ノ米代川ノ上流ノ改修ト云フモノハ、特殊ナ性質ヲ持ツテ居ル河川デアリマスカラ、モウ既ニ實測ガ済ミ、調査ガ済ミマシタ今日ニ於テ急速ニ改修ニ著手ヲ願ヒタイト云フ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、之ニ對スル土木局ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○成田政府委員 只今ノ御質問ニ御答致シマス、米代川ノ改修ノ問題ニ付キマシテハ、只今沿革ニ付テ色々御話ガアツタ通りデアリマシテ、既ニ昭和八年ノ第三次治水計畫ニ於テモ、米代川ハドウシテモ改修シナケレバナラヌト云フ川ニ選定サレテ居ルノデアリマシテ、現在下流ニ於テ改修工事ヲ實施シテ居リマス、只今ハ其ノ上流ニ於ケル改修ニ付テハ既ニ調査ハ済シテ居ルノデアリカラ、急速ニ實施ヲシテ貰ヒタイト云フ御意見デアツタノデアリマス、唯現在土木局ノ考ト致シマシテハ、下流ニ於キマスル改修工事ヲ現在ヤツテ居リマスノデ、是ガ中途半端デ上流ヲ又ヤルト云フコトニ付テハ、ドウモ技術ノ上カラ云ツテ困難デハナイダラウカト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマシテ、其ノ間ノ調節ガ取レ得マスレバ、只今ノ御希望ノヤウナコトモ考ヘテ宜イト思ヒマスガ、只今ノ所デハ先ヅ下流ヲ成ベク早くヤル、而シテ上流ニ及ブト云フ考デ居リマス、併シ御意見ノ點ハ十分ニ參考ニ致シマシテ、將來成ベク早イ機會ニ上流ノ方ノ計畫ヲ立テテ實施スルヤウニ致シタイ考ヲ只今持ツテ居ルノデアリマス

○中田委員 現在第一期ノ下流ノ改修ヲヤツテ居ルカラト云フ話デアリマス、併シ下流ノ改修ハ主トシテ米代川ノ河港ノ改修ガ主デアリマシテ、第二期ト下流ノ改修ガ出來ナケレバ、上流ノ改修ガ出來ナイヤウナ聯關ハナイヤウニ私ハ存ジテ居リマス、此ノ點ハドウゾ十分御調査願ヒマシテ、若シドウシテモ下流ト聯關ガアリ、下流ノ改修ガ終ラナイ中ハ著手出來ナイト云フ事情デアラナラバ已ムヲ得ナイノデアリマスガ、私トシテハ並行シテ行ケルト考ヘテ居リマス

スシ、只今申シマシタヤウニ、鑛山ノ毒水ノ氾濫ト云フコトヲ十分御認識下サイマシテ、此ノ點ニ對シテハ成ベク早く御著手アラシコトヲ希望シテ置キマス

○野村委員長 松川君

○松川委員 私ハ北上川ノ改修ニ付テ御尋致シタイノデアリマスガ、是ハ恐ラク東北振興中殘サレタ一番大キナ問題デハナイカト思フノデアリマス、北上川ハ日本ノ三大河川ノ一ツデアリマスガ、外ノ河川ニ付テハ皆改修計畫ガ出來、或ハ著手完成シツツアルノデアリマス、然ルニ此ノ北上川ノ一ツガ今尙ホ取殘サレテ居ルノデアリマス、此ノ北上川ノ一ノ關地方ハ丁度上流ノ方カラ流レテ來マス所ノ水ガ溜ル場所デアル、上流カラ二十數里ニ互ツテ蜿蜒殆ド落差ノナイ北上川ガ流レテ居リマス、サウシテ一ノ關ヲ中心トスル兩側ニ水ガ溜ツテ、其ノ下流ニ水ガ吐ケナイト云フ特殊ナ川ニナツテ居ル、電氣モ出來ナケレバ、何モ出來ナイ、非常ニ害毒ヲ流スケレドモ、少シモ利益ガナイト云フ川ナノデアリマス、是ハ内務省ニ於テモ十分御承知ノコトト思フノデアリマスガ、一雨毎ニ非常ナ被害ガアリマシテ、一年ノ中ニ十數回水ガ上ル、水ガ上ルト、海ノ如ク、沼ノ如ク溜ルノデアリマス、岩手縣ノ土木課ニハ一雨毎ニ何百萬圓、何十萬圓ト云フ標語ガ出來テ居ル、雨ガ降ルト北上川ガ氾濫スル、サウシテ全部一ノ關町ニ溜マルノデアリマス、ソコデ岩手縣ノ縣債ノ狀況ヲ見マス、大部分ハ北上川ノ氾濫ニ依ル所ノ災害復舊工事ノ起債デアリマス、昭和六年マデニ八百萬圓バカリノ借金ガアツタノデアリマスガ、其ノ中ノ約六百萬圓ハ北上川ノ氾濫ノ改修ニ要シタル費用デアリマス、斯ウ云フ大キナ川ガ今尙ホ内務省ニ依ツテ改修サレナイト云フコトハ、私ハ内務省ノ大キナ失態デアルト考ヘルノデアリマス、ソコデ私ハ度々十數年前カラ陳情シテ居ルノデアリマスガ、ドウモ北上川ハ難川ダ、計畫ノ立テヨウガナイ、或ル場合ニ於キマシテハ、面倒ダカラ一ノ關地方ヲ水溜リニシテ、アレバ買収シタラドウカト言ハレタコトガアリマスガ、ソレ程困難ナ問題デアリマス、併シナガラドウシテモ是ハ國ノ力デヤツテ戴カナケレバ、外ニヤル方法ガナイノデアリマス、地方或ハ縣ノ費用ヲ以テ之ヲ買収スルト云フコトハ全然不可能デアリマス、之ニ對シテ内務省ニ於テモ色々意見ガアリ、大藏省トノ關係モアルヤウデアリマスガ、率直ニ此ノ際内務省ニ於テハ此ノ北上川ノ改修ニ付テ如何ナル見解ヲ持ツテ居ルカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○成田政府委員 北上川ノ改修ニ付テ御尋デアリマス、御承知ノヤウニ北上川ニ付キマシテハ明治四十四年カラ昭和八年マデ千數百萬圓ノ工費ヲ費シマシテ、下流ニ於ケル治水工事ハ一應完了致シタノデアリマス、上流ニ付キマシテハ、只今御話ノヤウニマダ實施ヲ致シテ居リマセス、此ノ點ニ付キマシテハ、是モ御承知ノヤウニ、丁度岩手縣ハ宮城縣ノ縣境ニ或ル狹窄部ガアリマシテ、工事ニ非常ニ難シイ問題ガ色々アルヤウニ聞及シテ居リマス、仍テ之ヲ如何ニ解決スルカト云フコトニ付テ調査研究ヲシテ居ルノデアリマス、勿論内務省トシテ北上川ノ上流ヲ改修シナケレバナラヌト云フ考ニ於キマシテハ、チツトモ變ツテ居ラナイノデアリマシテ、昭和八年ノ土木會議ノ第三次治水計畫ニ於テモ、北上川上

流ノ改修ノ必要ヲ認メテ居ルノデアリマス、更ニ今回内務省ト致シマシテハ、東北地方ニ於ケル東北振興ノ基本施設ヲ調査スル必要アリト致シマシテ、此ノ調査費ヲ今度ノ議會ニ提案ヲシ、要求ヲ致シテ居ルノデアリマス、三箇年ニ互リ、東北地方ヲ振興セシムル爲ニハ、如何ナル基本施設ヲ必要トスルカト云フコトニ付キマシテ、主トシテ土木局關係ノ仕事デアリマスガ、其ノ調査ノ中ニ北上川筋ニ於ケル貯水計畫ト云フモノヲ入レマシテ、調査ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマスシテ、北上川ノ最モ上流ニ於ケル適當ナル箇所ニ「ダム」ヲ設ケマシテ、治水並ニ利水ヲ圖ル、之ニ依ツテ東北地方ノ振興ニ資セヨウトスル考ヲ持ツテ居ルノデアリマスシテ、只今ノ北上川筋上流ニ於ケル貯水計畫ト相俟チマシテ、北上川上流全般ニ對スル改修ノ計畫ヲ立テテ、其ノ計畫ガ立チマシタ上ニ於キマシテ、之ヲ豫算化シ、實施シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○松川委員 只今ノ御説明ニ依リマシテ、此ノ下流工事ノ事ニ付テ申上ゲタイト思フノデスガ、一體内務省ノ工事ハ下流カラ上流ニ工事ヲ計畫シテ行クト云フ所ニ間違ヒガアルト思フノデアリマス、下流ニ於テ一千數百萬圓ヲ投ジテ工事ヲ致シタコトハ私ハ全然失敗デアルト考ヘルノデアリマス、ナゼカト申シマスルナラバ、現在宮城縣ノ下流ノ工事ヲ致シタ爲ニ、其ノ工事ノ狀況ニ依ツテ、上流ノ水ヲ呑切レナイト云フコトニアルノデアリマス、上流ノ水ヲ下流ニ引張ツテ行クト、下流ノ工事ガ其ノ效果ガ無クナルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、私共ハナゼ此ノ下流工事ヲスル時ニ

於テ、上流ノ改修工事トモ併セテ工事ヲ致サナカツタカト考ヘルノデアリマス、今デハ下流工事ニ於テ一定ノ水シカ溜メルコトノ出來ナイヤウナ工事ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、上流カラ無限ニ流レル所ノ水ヲ下流ニ流シテ行クト云フト、下流デヤツタ工事ガ效果ガ無クナルト云フヤウナ状態ニナツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ於キマシテモ此ノ北上川ハア云フ大キナ川デアルナラバ、上流カラ中流、下流ト計畫ヲ立テテヤルベキモノデアルト思フノデアリマスガ、既ニ出來テシマツタノデアリマスカラ、此ノ點ハ私共申上ゲナイノデアリマスガ、兎ニ角計畫ヲ立テル時ニ、下流デ上流ノコトヲ考ヘナイデ、水ノ保タセ方等ヲ十分ニ考慮シナイデヤツタト云フコトハ、是ハ失敗デアル、此ノ事ニ付テハ、東北局長モ既ニ現場ヲ御覽ニナツテ居リマス、此處ニ居ラレマス橋本事務官モ十分御努力ヲ下サツテ居ルノデアリマスケレドモ、私共ハマダ其ノ御努力ハ十分デヤナイト思フ、ト云フノハ十數年前カラ一番先ニ北上川ハヤラナケレバナラヌト云フコトヲ内務省ニ於テハ考ヘテ居ル、ソレカラ只今ノ局長ノ御話ニ依リマスルト、二箇年間幾ラデ以テ貯水計畫ノ調査ヲスル、斯ウ云フノデアリマス、調査ヲシタ結果、果シテヤルノカ、ヤラナイノカ、是ハ分ラナイ、二年モ三年モ掛ツテ調査シタダケデ、又金ガナイカラ延バス、斯ウ云フコトニナルダラウト思フ、必要ハ認メテ居ルカラ調査ヲスル、私ハ調査ノ必要ハナイト思フ、調査ヲヤラナクテ直ダ著手出來ルト思フノデアリマス、殊ニ此ノ北上川ノ改修ニ付キマシテハ、恐ラク繼續事業ニ出テ來ルダラウト思フ、短

クテ五年、普通デモ十年、長ケレバ二十年掛ルノデアリマス、此ノ完成シナイ間ハ吾等ハ年々歳々洪水ノ被害ヲ受ケナケレバナラス、斯ウ云フヤウナ事情ガハツキリ分ツテ居ル、殊ニ土木局長ハ御覽ニナツテ居リマスガ、千歲橋ト云フ橋ハ天下稀ニ見ル橋デアル、舟橋デアリマスガ、水ガ上ルト云フト、此ノ橋ヲ解體スル、自動車、「トラック」ガ通ルト川ノ中ヘ落チテ、人ガ死ヌ、是ハ縣道デナクテ危險道ダト言ハレル位デ、其處デ死シタ人數ダツテ大變ナ數デアアル、冬水ガ張ツテ來ルト、舟橋ハ駄目デアアル、又五米モ水ガ上ルト此ノ舟橋ハ解體ヲシナケレバナラス、湯水ガ來ルト此ノ舟橋ハナクナル、此處ハ私ノ選舉區デスガ、選舉ノ時ニ此ノ橋ガヨク無クナツテ向フヘ行クコトガ出來ナイ、一年ノ中ニ十何回モ橋ヲ取ツタリ架ケタリス非常ニ不可思議ナ橋デアリマス、サウ云フヤウナ次第デ、今年モ丁度アノ橋ガ水ノ爲ニ流サレマシテ、今彼處ハ水ノ上ヲ渡ツテ歩カケレバナラス、春ニナツタラドウスル考デアリマセウカ、是ハ北上川ノ改修ト一緒ニヤルンダト言ツテ居リマスガ、北上川ノ改修ハ二十年先ニナルカ、三十年先ニナルカ分ラナイ、斯ウ云フヤウナ状態デアリマスカラ、只今ノ御答辯ニ依ツテ土木局長ガ御努力ヲサレテ居ルコトハ認メマスガ、二年間ノ調査費ナドト云フ、サウ云フ悠長ナ考ヲ持タナイデ、即刻ヤツテ貰フヤウナ計畫ヲ御願シタイト思フ、ドウカ岩手ノ爲ニ、東北振興ノ爲ニ御願致シタイ、殊ニ岩手ニ於テハ内務省ハ岩手縣民ヲ殺スンダトマデ言ツテ居ル位デアリマスカラ、是非トモサウ云フ悠長ナ考デナク、大藏省ガ豫算ガナイトカ、或ハ計畫ガ立たヌト云

フコトヨリモ、私ハ拙速ヲ貴ブ、完全ニ其ノ水害ヲ免レルト云フコトハソレハ出來マセヌ、洪水ガ來ルト水ハ五十尺以上モ上ルノデアリマスカラ、是ハドンナ事ヲシタツテ防グ譯ニハ行キマセヌガ、少クトモ十尺ヤ二十尺、或ハ三十尺程度ノ水害ハ防ゲルヤウナ方法ヲ一日モ速ニ立テテ貰ヒタイ、此ノ點ニ付テ重ネテ御答辯ヲ願ヒタイ

○成田政府委員 私ハ技術家デアリマセヌカラ、技術ノコトハ能ク存ジマセヌ、併シ只今御話ノ中ニ下流カラ改修工事ヲヤルノハ間違ヒデアル、且ツ洪水量ガ幾アルカ分ラナイノニ、下流デヤツテモ仕方ガナイデヤナイカト云フヤウナ御批評ノヤウデアリマシタガ、私ノ聞イテ居リマス所デハ、ヤハリ技術的ニ下流カラ改修スベキモノデアアル、而シテ洪水量ト云フモノヲ十分調べマシテ、ソレヲ呑込ムダケノモノトシテ改修ノ計畫ヲ立テテ居ルヤウニ聞及ンデ居リマスノデ、申上ゲテ置キタイト存ジマス

ソレカラ大變ドウモ調査々々デ遅レテシマツテ、何時上流ノ改修ヲヤルカ分ラスト云フコトニ關聯シテノ御尋デアツタノデアリマス、是ハ先程ノ御答辯ニ於テモ申上ゲマシタ如ク、又質問セラレマス委員ニ於テモ十分御承知ノ如ク、非常ニ難川デアリマシテ、中途ニ於テ非常ナル狹窄部ガアツテ、改修上非常ニ困難ナ川デアアルサウデアリマス、困難デアリマスカラ、何時マデモ棄テテ置クト云フ意味合デハ毛頭ゴザイマセヌケレドモ、之ニ對シテ如何ナル方法デ洪水ヲ防グカト云フヤウナコトニ付テハ、十分ニ確固タル計畫ヲ立テル必要ガアルト存ズルノデアリマスシ、更ニ之ニ關聯致シマシテ、上流ニ貯水ノ「ダム」ヲ造ルト云フコトニ依ツ

テ洪水量ヲ一定ナラシメル、之ニ付キマシ
テハ、サウ調査ガ簡單ニ行クト云フ譯ニハ
「ダム」ヲ造ルカト云フコトニ付キマシテハ
十分ニ慎重ナル調査ヲ致シ計畫ヲ立テマセ
スト、後ニ至リマシテ、其ノ「ダム」ガ缺損ス
ルトカ云フヤウナコトモアリマセウシ、又ド
レ程ノ水ヲ溜メ得ルカト云フコトニ付キマ
シテハ、實地ニ付キマシテ十二分ナ調査ガ
必要デヤナイカト思ヒマス、唯御話ニアリ
マシタヤウニ、出來得ル限リノ努力ヲ致シ
マシテ、成ベク早く調査ヲ遂ゲ、其ノ調査
ニ基イテ實施計畫ヲ立テルト云フコトニ付
テハ、出來ルダケノ努力ヲ致シタイト存ジ
マス

○松川委員 モウ一點ダケ…、後ハ止メ
マス、土木局長ノ改修計畫ニ付テハ、下流
カラヤツテ居ルノダ、或ハ洪水量モ調査シ
テヤツテ居ルノダト、斯ウ云フ御話デアリ
マスガ、北上川ノ分ハ洪水量ヲ調査シタカ
モ知レマセヌガ、現ニアノ溪谷路ヲ抜イテ
行クト云フト否切レナイト云フコトヲ内務
省ハ認メテ居リマス、其ノ點ニ付キマシテ
ハ或ハ是ハ意見ニナルカモ知レマセヌガ、
其ノ爲ニ溪谷道ヲ抜クト云フコトハ出來ナ
イデ、「ダム」ト云フ計畫ニ變更致シテ居ル
ノデアリマス、斯ウ云フ點ニ於テ私共ハ上流ニ
於ケル洪水量ニ於テモ、モウ少シ調査ガアツ
テ然ルベキモノデアツタト斯ウ考ヘルノデア
リマス、ソレカラ其ノ他ノ點ニ付キマシテハ、
大キナ問題デアリマスカラ、「ダム」ノ計畫ニ付
テモ私共大ニ心配シテ居ル點モアリマス、折角
拵ヘテ費ツタガ到頭「ダム」ハ役ニ立タナイ
デ、洪水ノ材料ニナツタト云フヤウナコト
ガ尾去澤ノ例デモアリマスカラ、ソレ等

ノ點ニ付テハ何レ後カラ申上ゲマスガ、ド
ウカ只今ノヤウナ大キナ、日本三大河川ノ
一ツガ未ダ著手ニモナツテ居ラナイ、サウ
シテ調査費ガヤツト何万圓カ申譯のナモノ
ガ出來タ、サウシテ是カラ二年モ掛ツテ、
十年カ十五年後ニ完成スルヤウナ計畫ヲ立
テルト云フコトガ漸ク出來タ譯ナノデスガ、
ソレダケデモ満足セヨト云フナラ満足シマ
スケレドモ、吾々ハドウモソレダケデハ満
足出來ナイ、モウ少シ速カナ計畫ヲ立テテ
貰ヒタイ、是ダケ御願致シテ置キマス

○木村委員 先程モ申上ゲマシタ通りニ、
東北電力會社ノ本年度ノ發電計畫ガ數箇所
出來上ツテ居リマスガ、其ノ發電計畫ノ内
容ハ東北電力會社ダケノ力デヤツタノデハ
採算ノ取レナイ場所ノ發電計畫デアリマス、
ソレデソレダケデ出來上ツタ計畫デアリマス
ト、必ズ電力ノ値段ガ非常ニ高クナル、其ノ
結果安イ値段デ供給スル譯ニハイカス、ソコ
デ現在計畫ノアリマスル場所ノ水利工事ト
併行シナケレバナラナイ、内務省ガ力ヲ入
レテ、所謂縣ト國ト東北電力會社ト三位一
體ニナツテ此ノ仕事ヲヤラナカツタナラ
バ、安イ電力ヲ提供スル譯ニハ參ラナイノ
デアリマス、本年度ノ計畫ニアリマス山形
縣ノ内容デアリマスガ、野川ノ上流ニ發電
所ヲ造ル、彼處ニ電力會社ガ發電所ヲ造ツ
タノデハ値段ガ逆ニ合ヒマセヌ、ヤハリ野
川ノ河川改修工事ニ併行シテ發電所ヲ御造
リニナラナケレバ採算ガ合ハナイモノガ生
レテ來ル、ソコデ本年度ノ計畫ノ内容ヲ仔
細ニ吟味サレマシテ、内務省ガソレニ全力
ヲ傾倒シテ力ヲ協セテ之ヲヤルカドウカ、
此ノ御返事ヲ御願シタイノデアリマス

○成田政府委員 只今御質問ノアリマシタ
川ニ付テハ具體的ニ能ク存ジマセヌガ、内
務省土木局ノ方針ト致シマシテハ、日本發
送電ノ發電計畫其ノ他ニ付キマシテ貯水「ダ
ム」ヲ造ルト云フヤウナ場合ニ付キマシテハ
出來ルダケ之ニ協力シ、出來ルダケ早く手
續ヲ進行サセルト云フコトニ付テ協力ヲ致
シタイト思ヒマス

○庄司委員 關聯シテ一寸土木局長ニ御伺
致シマス、アナタノ御役所ノ仙臺ノ土木出
張所ニハ東北ノ河川ノ統制調査所ト云フヤ
ウナ新シイ看板ガ最近掲ゲラレデアリマス、
ソレハ十四年度ニ於テハ豫算ガ殆ド或ハ絶
對ニナカツタト思ヒマスガ、十五年度ニ於テ
只今局長ノ御答辯ノ中ニ多少豫算ヲ求メテ
居ルト云フ御話ガアツタヤウデアリマスル
ガ、具體的ニ其ノ數字ヲ示シテ極ク簡單ニ
御説明ヲ頂戴シタイト思ヒマスガ、如何デ
ゴザイマセウカ

○成田政府委員 先程御答辯致シマシタ東
北振興ノ基本調査費二萬圓ト云フノハ、今
回ノ豫算ニ計上サレテ居リマス、其ノ調査
ノ對策ト致シマシテハ、先程申上ゲマシタ
北上川筋ノ貯水計畫、ソレカラ最上川ノ貯
水計畫、ソレカラ八郎潟ノ工場地造成計
畫、ソレカラ仙臺地方ノ工業開發計畫ト云
フヤウナモノヲ對象ト致シマシテ、三箇年
間ニ互ツテ調査ヲ致シタイ、斯ウ云フ内容
ニナツテ居リマス

○庄司委員 名取川ハ入ツテ居リマセヌカ
○成田政府委員 御答致シマス、今ノ仙臺
地方工場開發計畫ノ中ニ入ル問題ト考ヘテ
居リマス

○野村委員長 一寸速記ヲ止メテ…
〔速記中止〕

○野村委員長 ソレデハ速記ヲ始メテ

本日ハ是デ散會致シマス、次會ハ公報ヲ以
テ御通知致シマス
午後零時五十分散會

昭和十五年三月二日印刷

昭和十五年三月三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局